



## 2006年2月期通期決算説明会

2006年4月12日

株式会社 アルバイトタイムス



# 当四半期(2006年2月期第4四半期)の業績

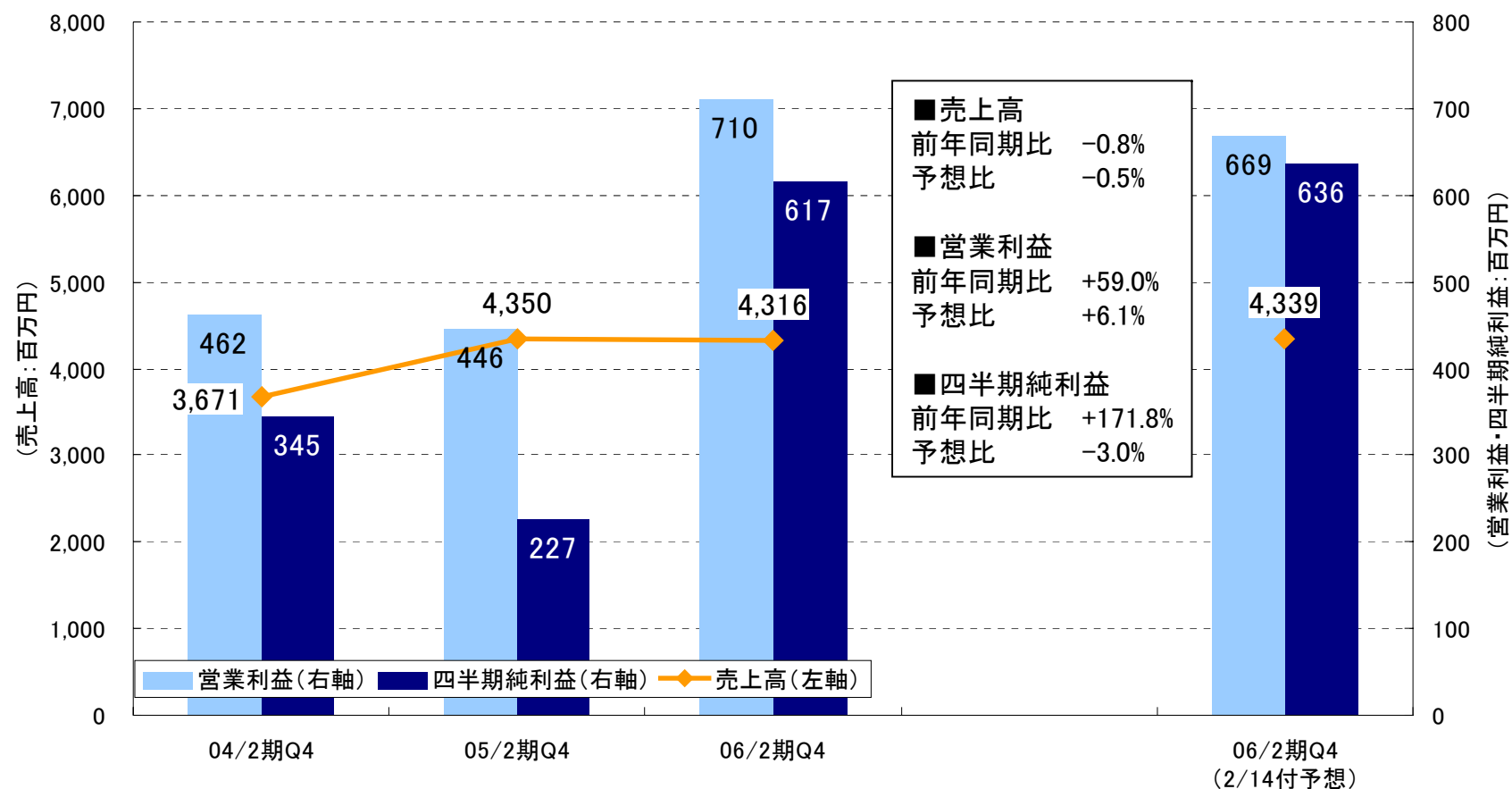
---

取締役 管理本部長  
垣内 康晴

# 当四半期業績(2006年2月期第4四半期)

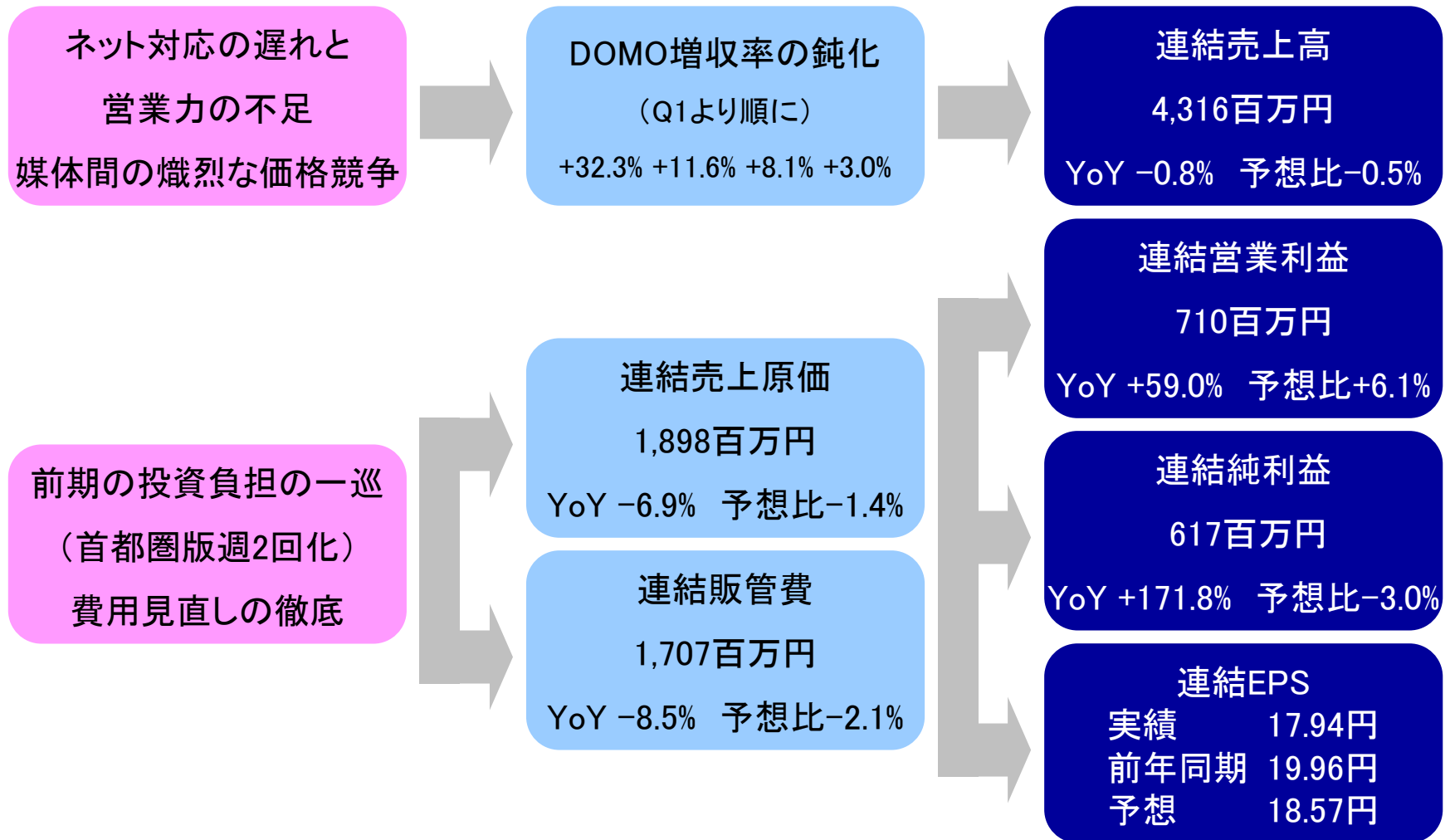
## ■ 営業利益は6割増、当期純利益は2.7倍

－ 前期の投資負担の一巡による営業増益、子会社株式売却益の計上



# 当四半期業績ハイライト(2006年2月期第4四半期)

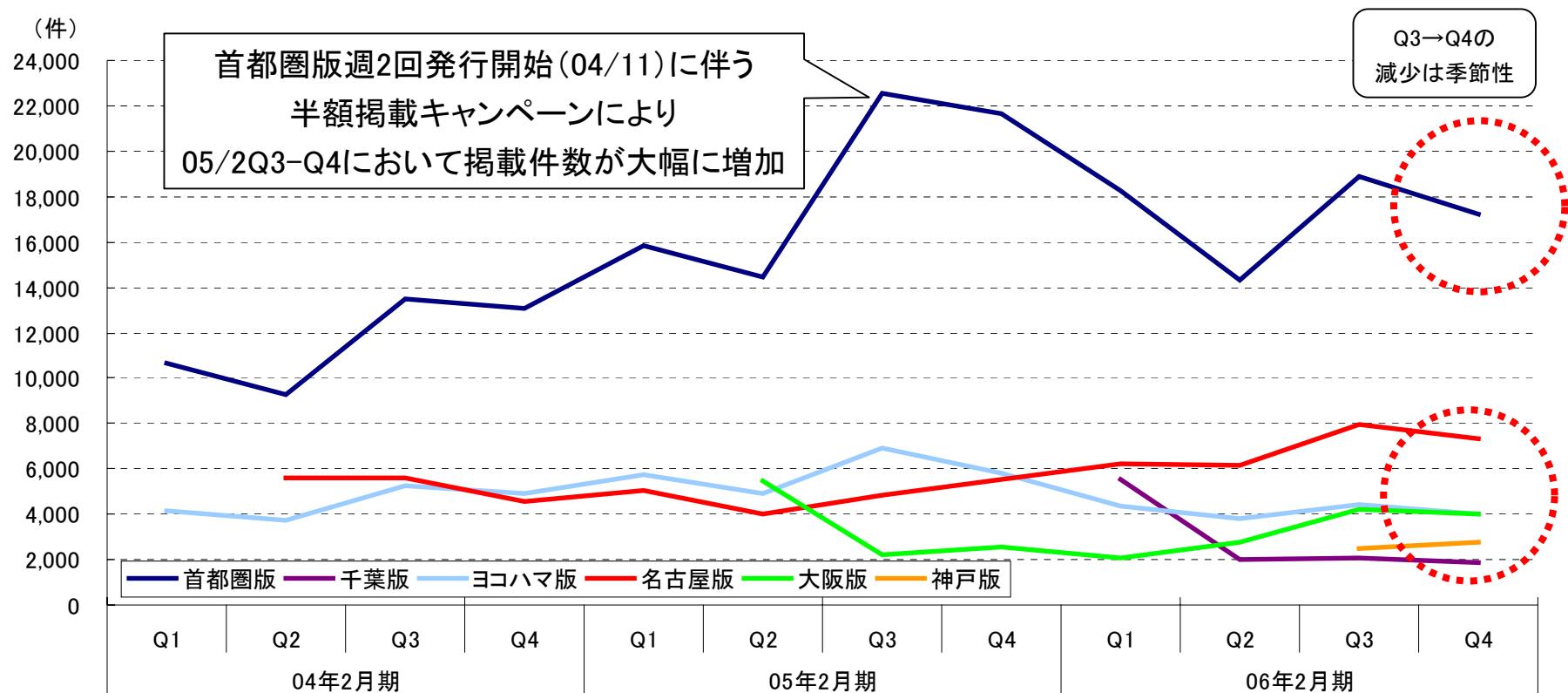
## ■ 当四半期もDOMOは苦戦したが、投資負担の一巡で大幅増益



# DOMO指標: 掲載件数

## ■ 掲載件数は計画に届かず

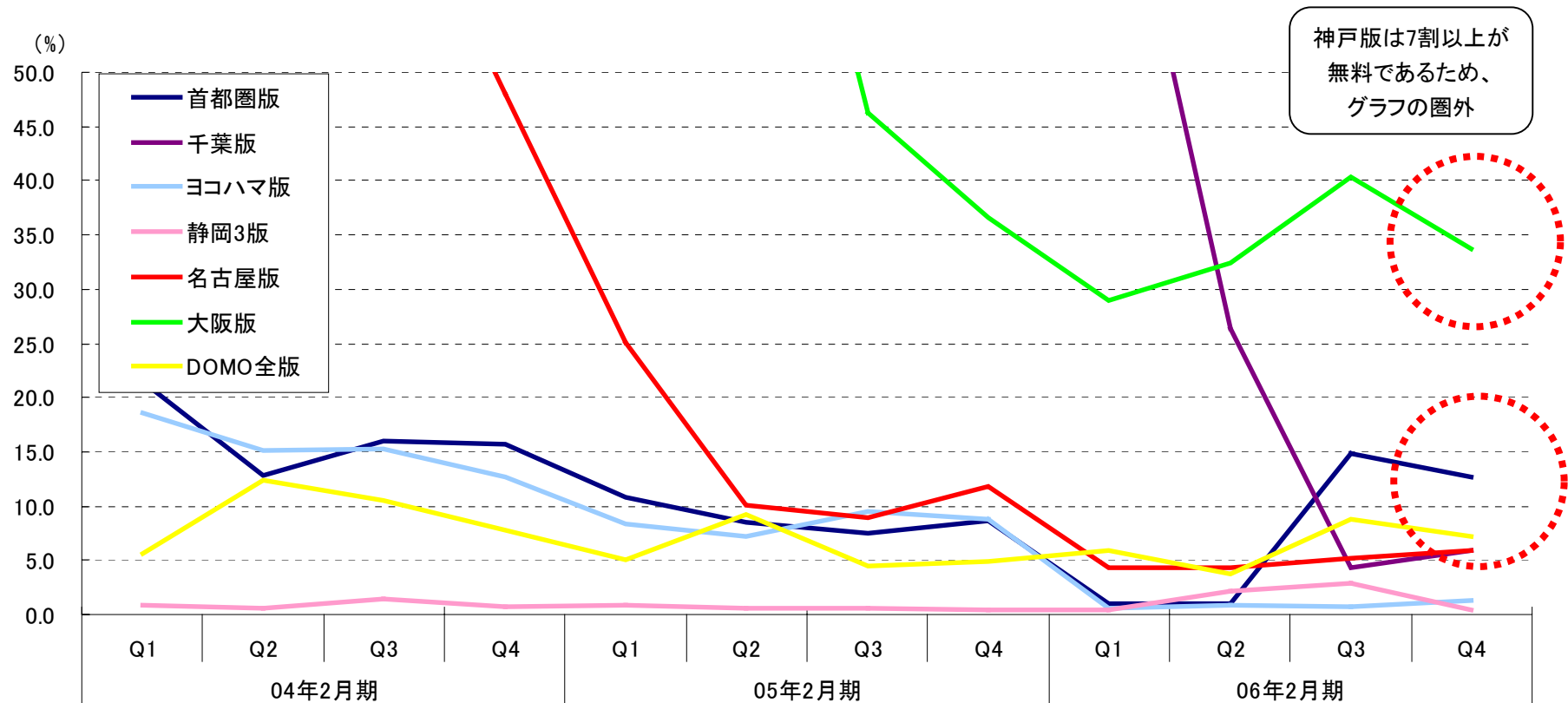
- 競合媒体によるセット販売やキャンペーンにより価格競争が激化
- 掲載件数を大幅に伸ばすことは難しい状況



# DOMO指標：無料掲載比率

## ■ 首都圏版・大阪版で徐々に有料化を推進

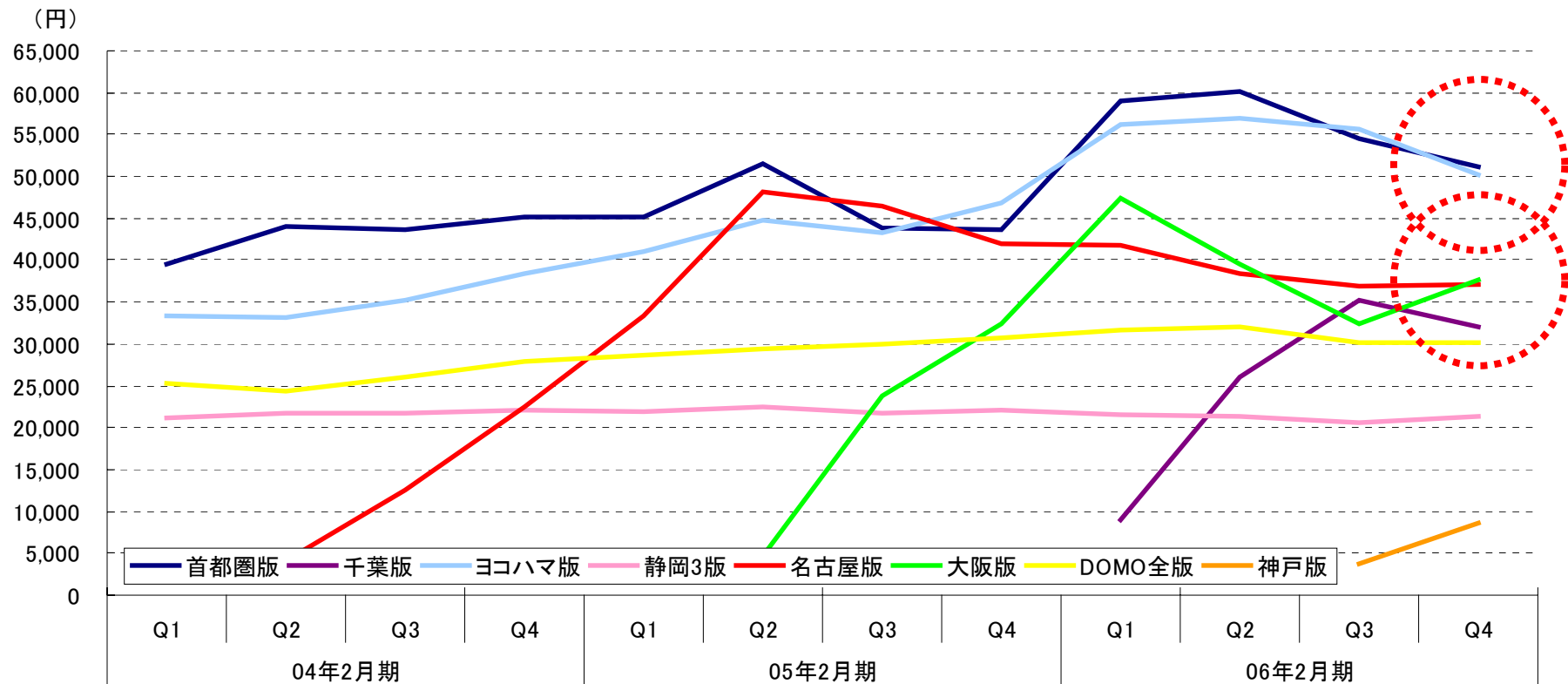
- 大阪版は掲載件数の増加と有料化の推進が両立しつつある
- 静岡3版は競合対策の掲載キャンペーンを終了し無料掲載比率は低下



# DOMO指標: 平均単価

## ■ DOMO全版の平均単価はQ3と同じ水準

- 首都圏版は飲食・小売チェーン、中小口顧客の増加によるもの
- 大阪版は有料化の推進が平均単価の引き上げにつながっている

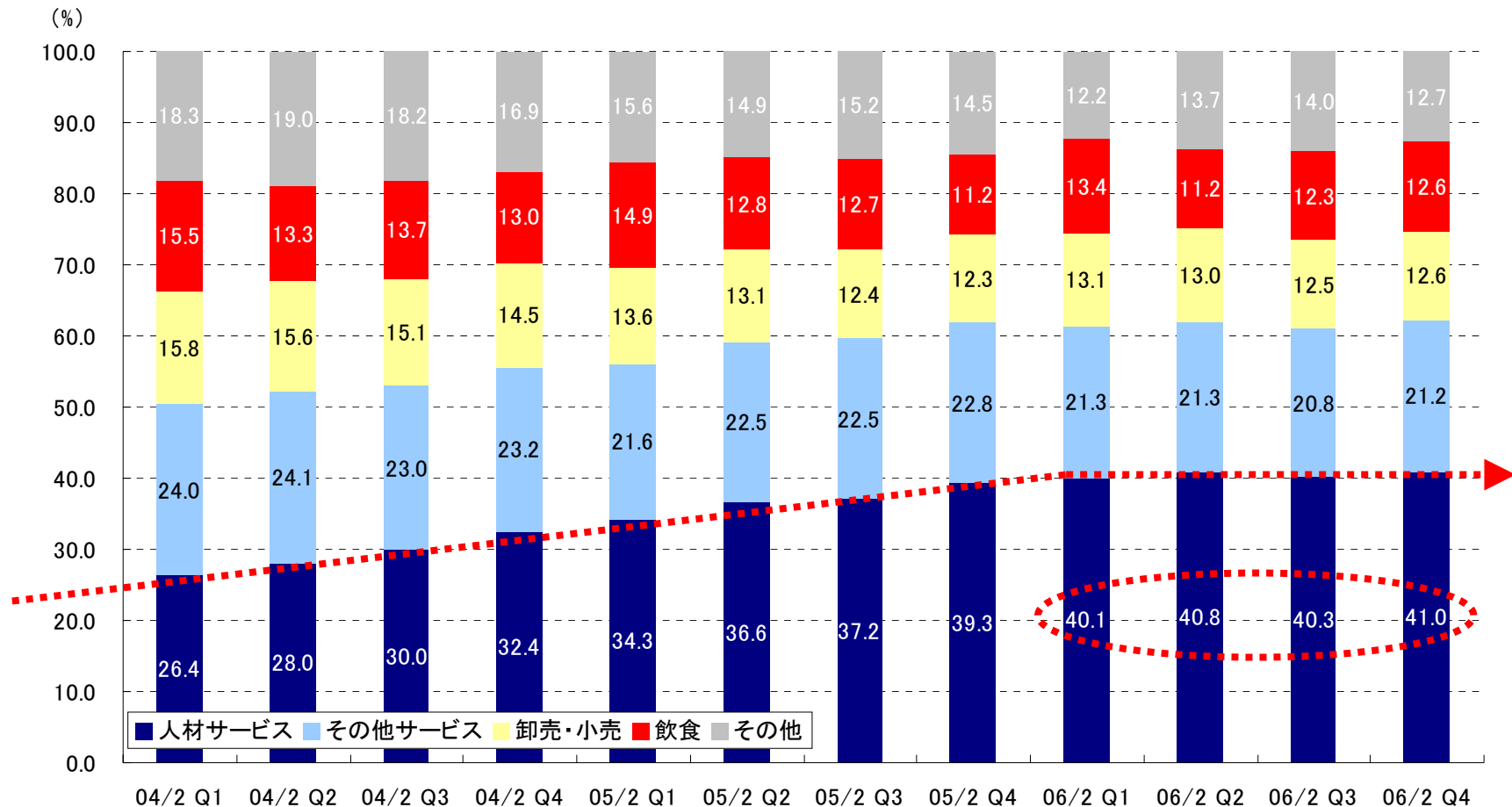


# DOMO指標：業種別売上高構成比

## ■ 人材サービス企業の構成比は横ばい

－ 飲食業の構成比の増加は継続

業種別売上高構成比 (DOMO全版)

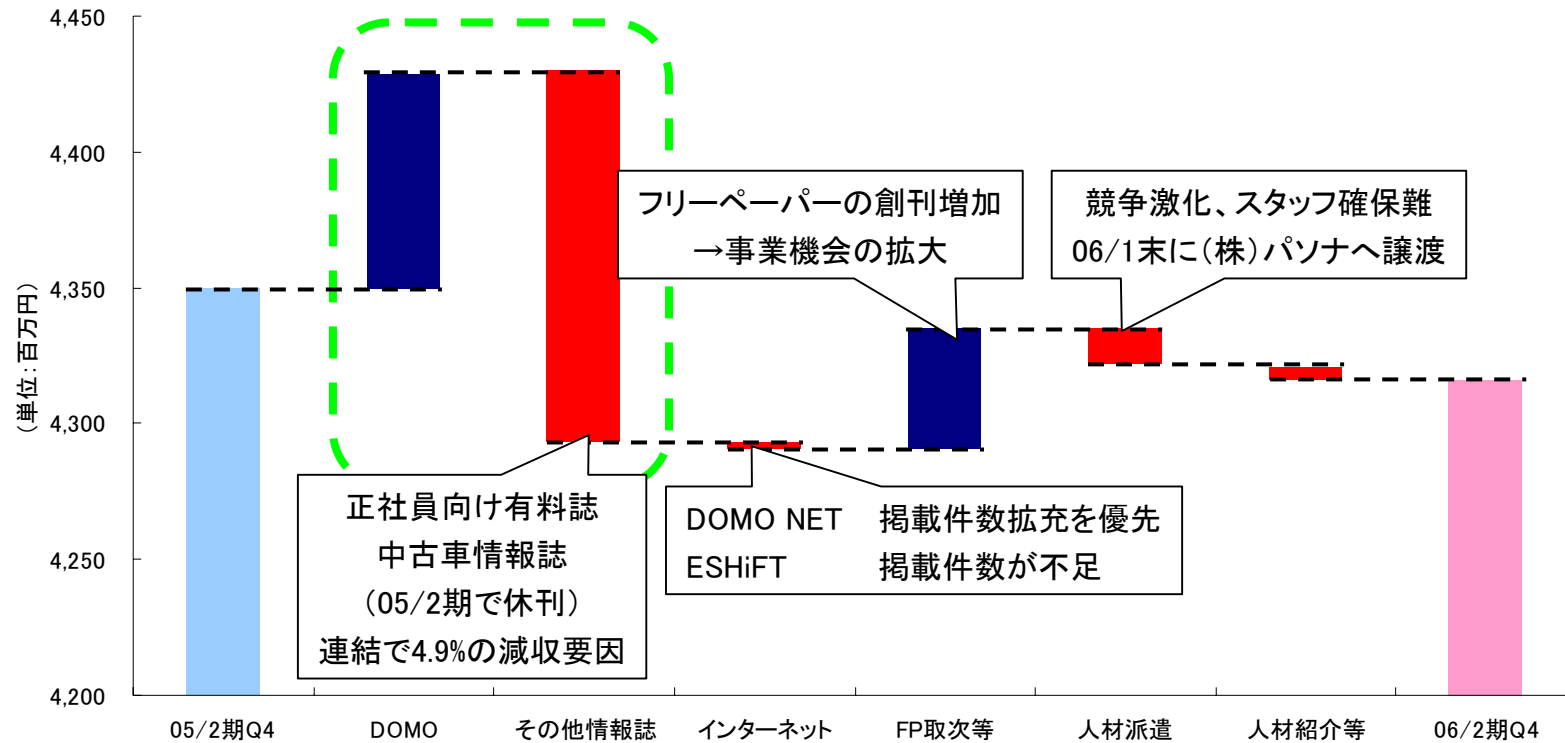




# 連結売上高の増減要因 (2006年2月期第4四半期)

## ■ 連結売上高は予想に届かず前年同期比横ばい

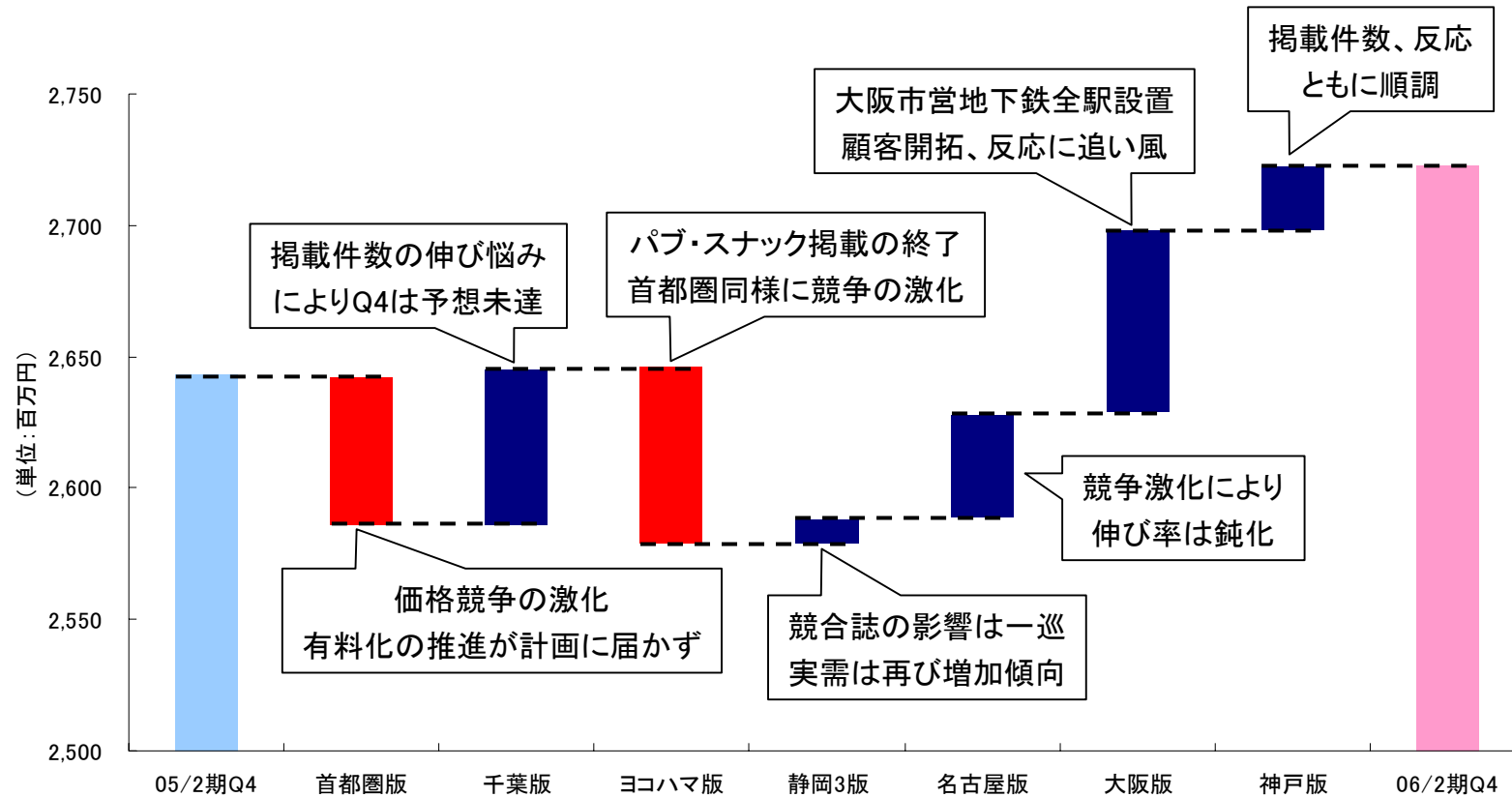
－ DOMOの成長鈍化により休刊媒体の減収分を相殺できず



項目	実績	百万円	2,723	—	36	256	1,289	10	4,316
前年同期比	増減額	百万円	79	-137	-2	44	-13	-5	-34
	増減率	%	3.0	—	-5.4	21.2	-1.1	-35.8	-0.8
予想比	増減額	百万円	-9	—	-1	8	-21	1	-22
	増減率	%	-0.3	—	-3.2	3.3	-1.7	18.3	-0.5

# 『DOMO』売上高の増減要因(2006年2月期第4四半期)

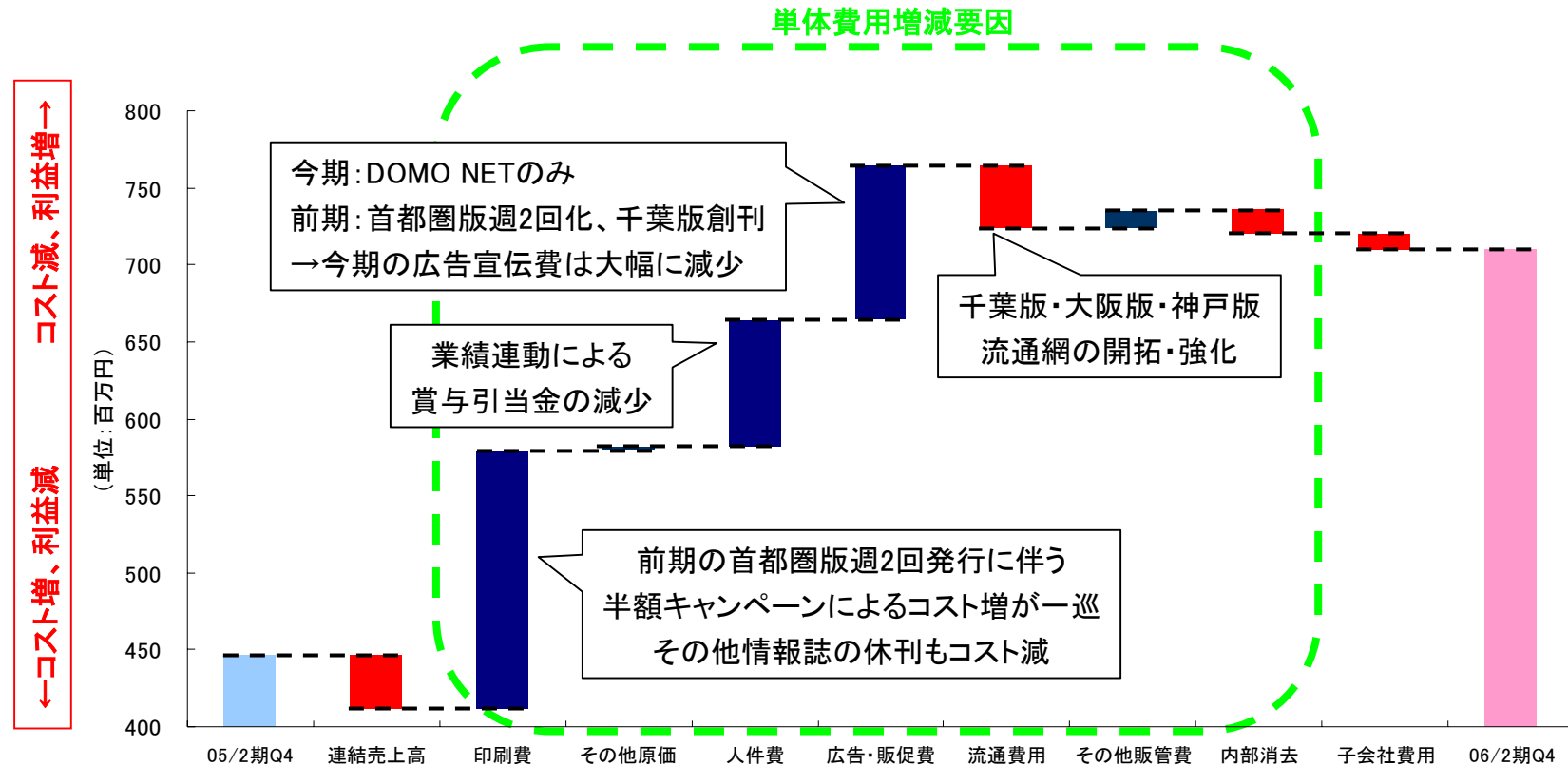
## ■ DOMOの成長鈍化は首都圏の苦戦が主因



06/2期Q4	実績	百万円	882	59	202	1,132	270	151	24	2,723
前年同期比	増減額	百万円	-56	59	-67	9	39	69	24	79
	増減率	%	-6.0	—	-24.9	0.8	17.2	85.7	—	3.0
予想比	増減額	百万円	-34	-2	0	15	9	1	0	-9
	増減率	%	-3.7	-3.7	0.2	1.4	3.6	1.2	1.0	-0.3

# 連結営業利益の増減要因 (2006年2月期第4四半期)

## ■ 前期Q4の投資 (首都圏版週2回化半額キャンペーン) 負担が一巡



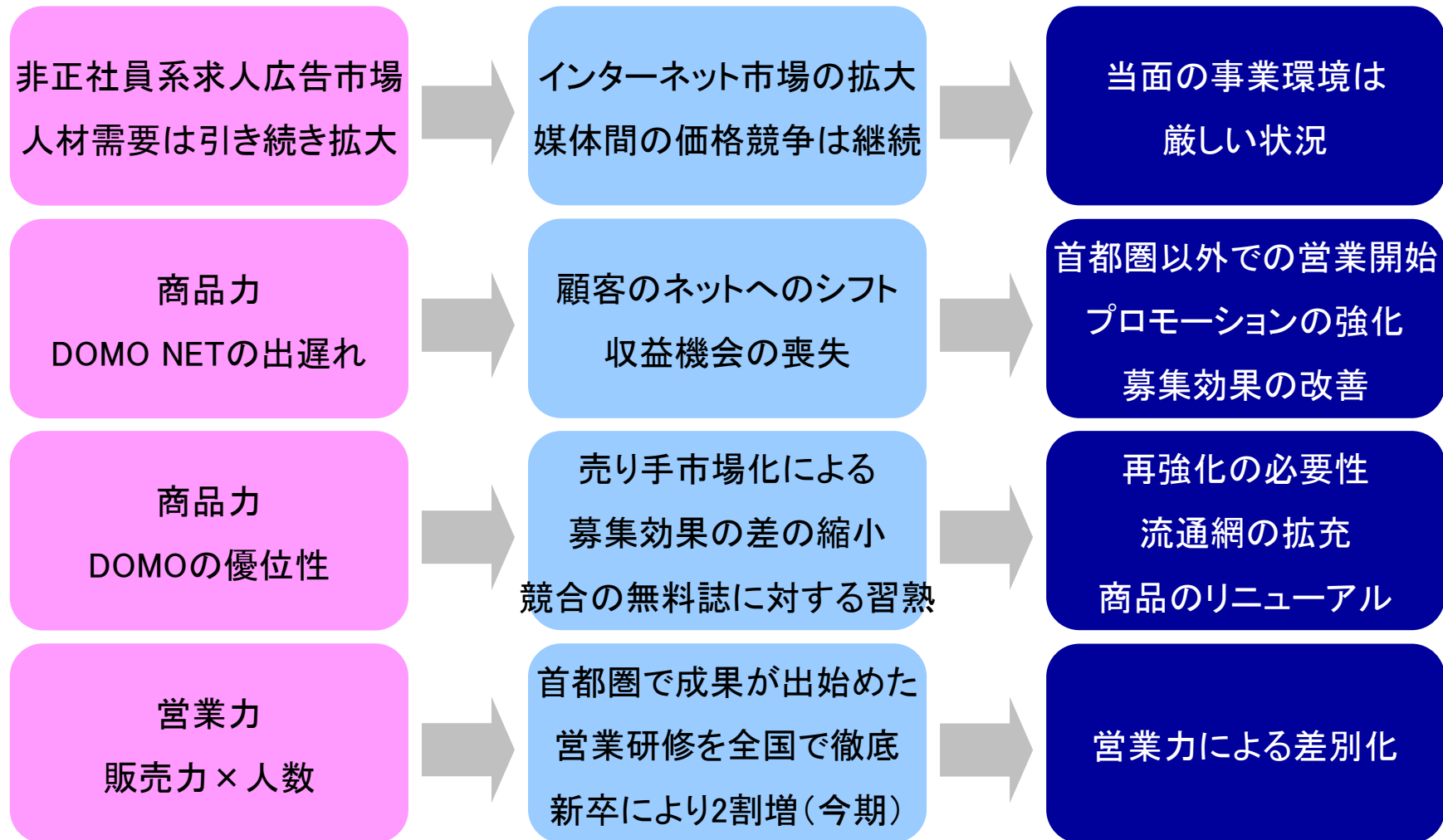
06/2期Q4	実績	百万円	4,316	478	133	676	35	491	286	-21	1,527	710
前年同期比	増減額	百万円	-34	-167	-2	-82	-99	40	-11	16	10	263
	増減率	%	-0.8	-26.0	-2.0	-10.9	-73.8	9.0	-4.0	—	0.7	59.0
予想比	増減額	百万円	-22	-13	6	-11	1	-17	-3	0	-23	41
	増減率	%	-0.5	-2.8	4.8	-1.7	3.0	-3.4	-1.3	—	-1.5	6.1

# 今期(2007年2月期)の業績見通し

---

# 業績予想の前提

## ■ 厳しい事業環境は継続、成長力強化に向け投資の積み増し



# 先行投資を含めた投資の内訳(科目別、単体)

## ■ DOMO NET強化を最優先し、DOMOの優位性を再強化

(単位:百万円)	目的	今期 (07/2期予)	当期 (06/2期)	前年同期比
売上高		12,229	11,434	795
売上原価	営業支援機能の強化、DOMOリニューアル	3,806	2,765	1,041
売上総利益		8,422	8,669	△246
人件費	営業員の増員(新卒入社により2割増)	3,800	2,974	826
広告・販促費	DOMO NETプロモーションの強化	958	823	135
流通経費	駅への配布ラック設置の強化(主に首都圏)	2,298	1,887	411
その他販管費	情報システムの再構築、営業拠点の増床	1,758	1,198	559
営業利益		△393	1,786	△2,179

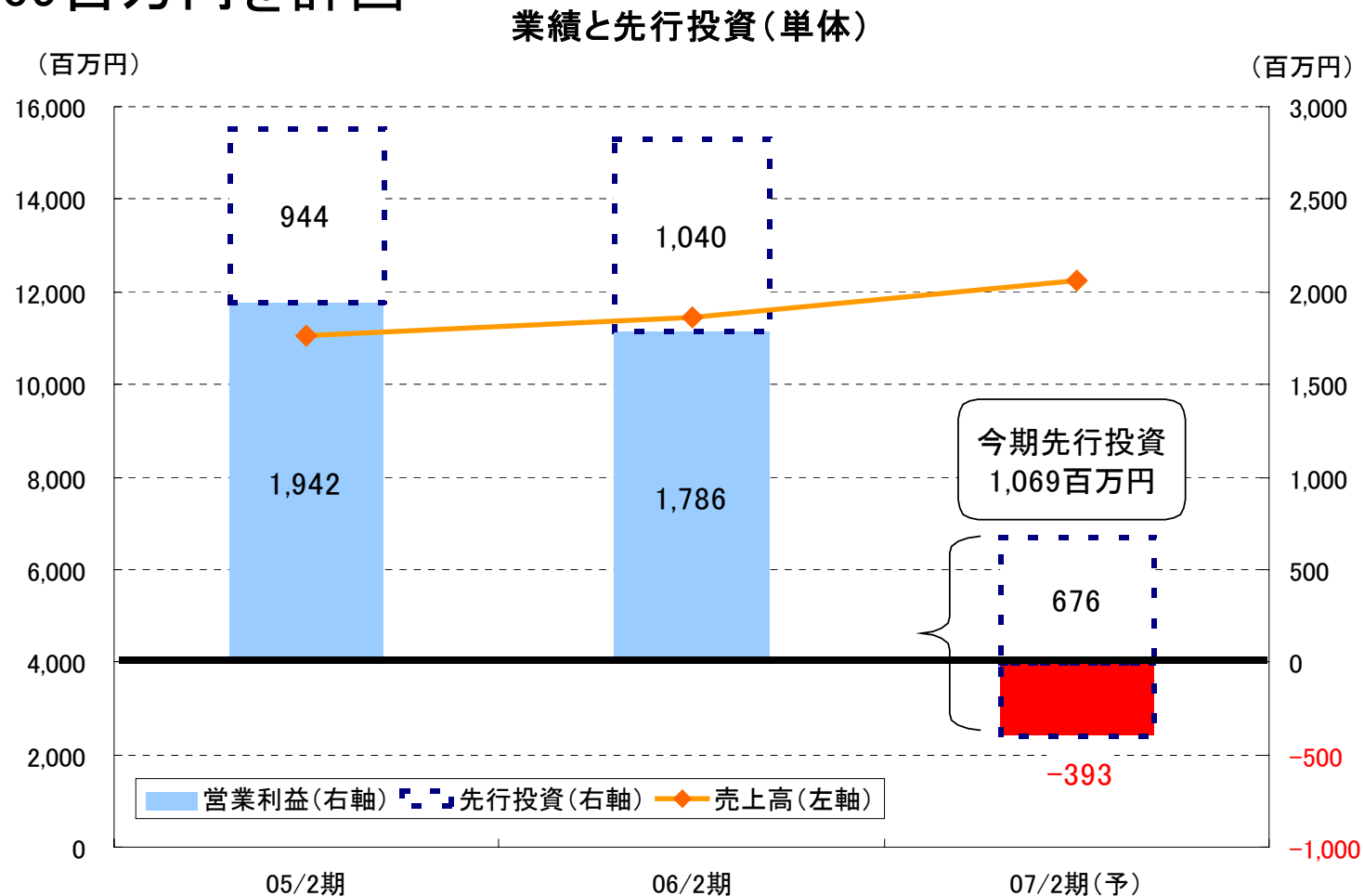
# 先行投資を含めた投資の内訳(部門別、単体)

## ■ 先行投資はほぼ同額、首都圏を中心に既存地域を強化

(単位:百万円)	今期 (07/2期予)	当期 (06/2期予)	前年同期比
既存地域・事業の営業損益	2,491	4,318	△1,826
新規地域・事業の営業損益(先行投資)	△1,069	△1,040	△28
管理系部門の営業損益	△1,815	△1,491	△324
営業損益	△393	1,786	△2,179

# 先行投資の推移(単体)

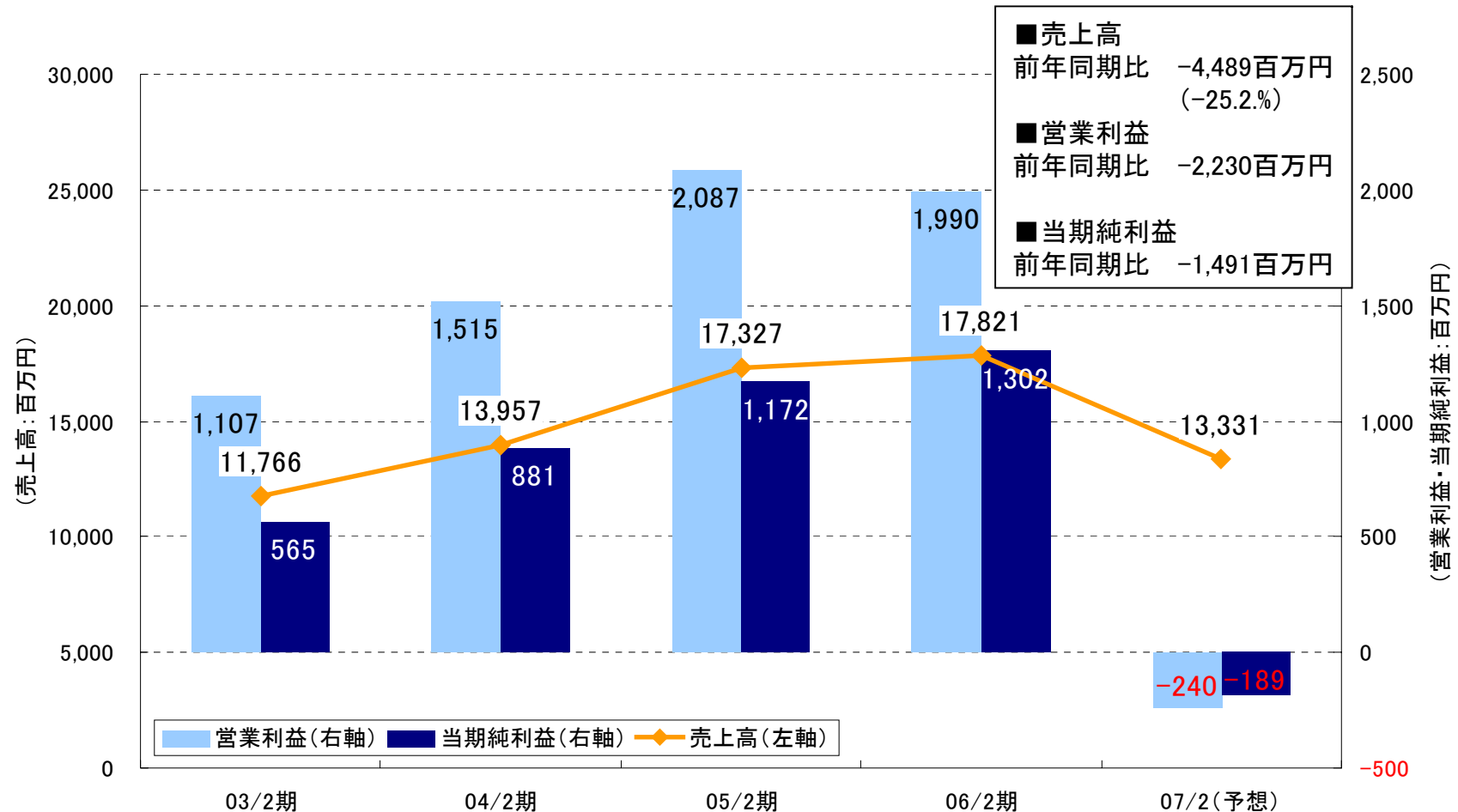
- 先行投資(新規事業・新規地域の営業赤字)は前期と同水準の1,069百万円を計画





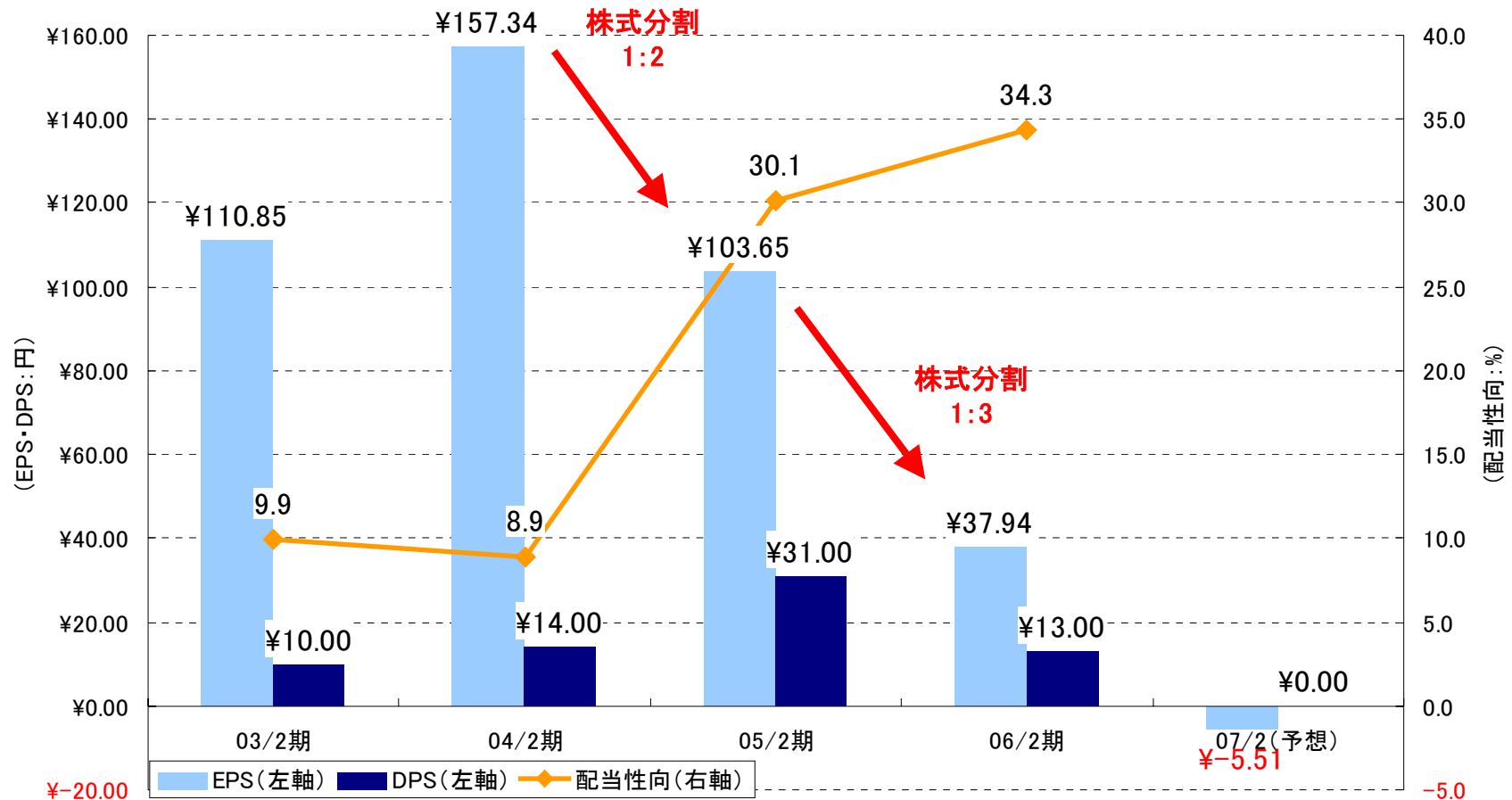
# 連結業績見通し(2007年2月期)

- 派遣売却により大幅減収、投資により大幅減益
  - － 経営資源の集中を進めてきた求人情報媒体事業の再強化が必要



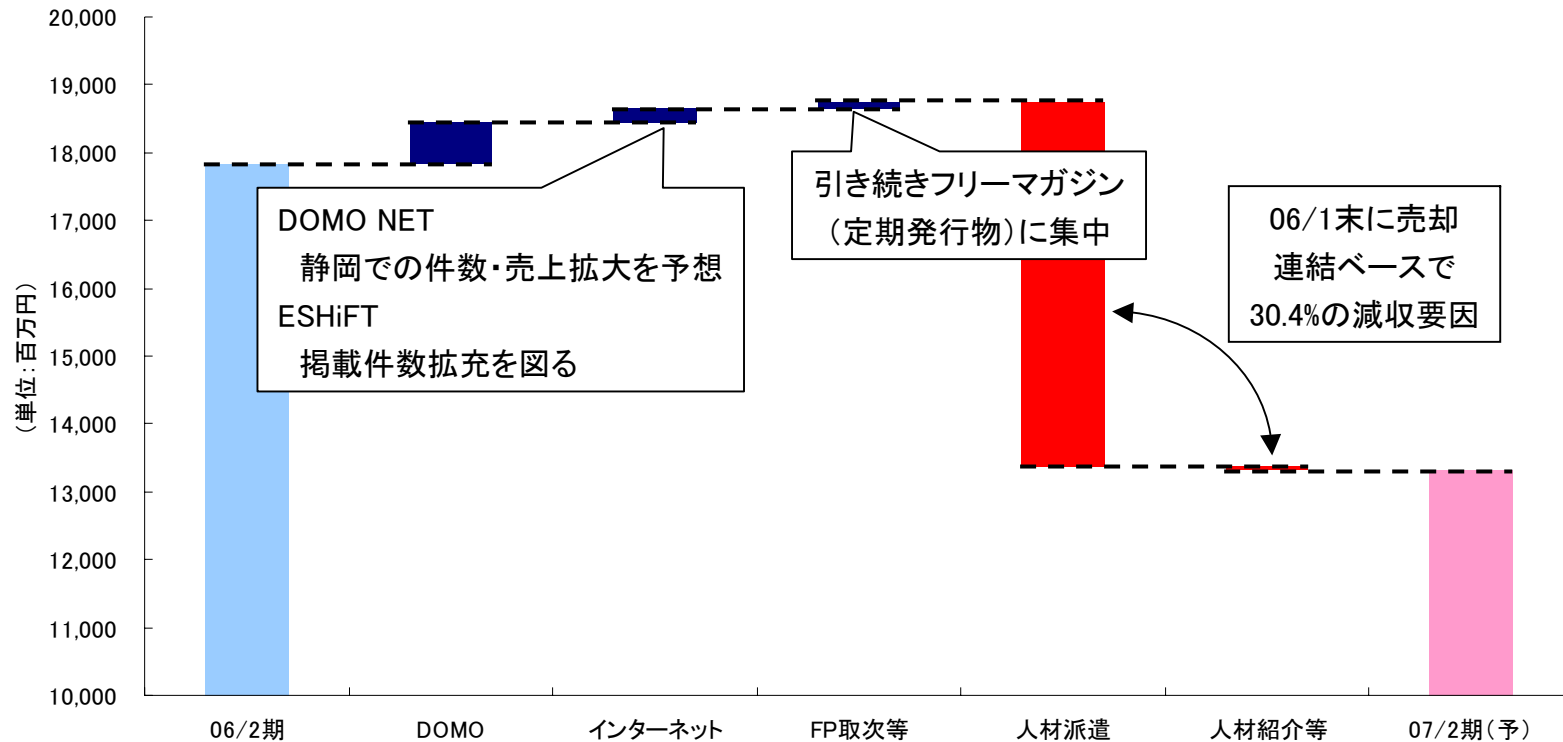
# 連結1株当たり指標見通し(2007年2月期)

- 業績連動の方針に基づき、業績予想は赤字のため配当は見送る予定



# 連結売上高の増減要因 (2007年2月期)

- 人材派遣・人材紹介事業の売却の影響が大きく大幅減収
  - － 情報関連事業のみでは7.2%の増収、DOMOは5.5%の増収

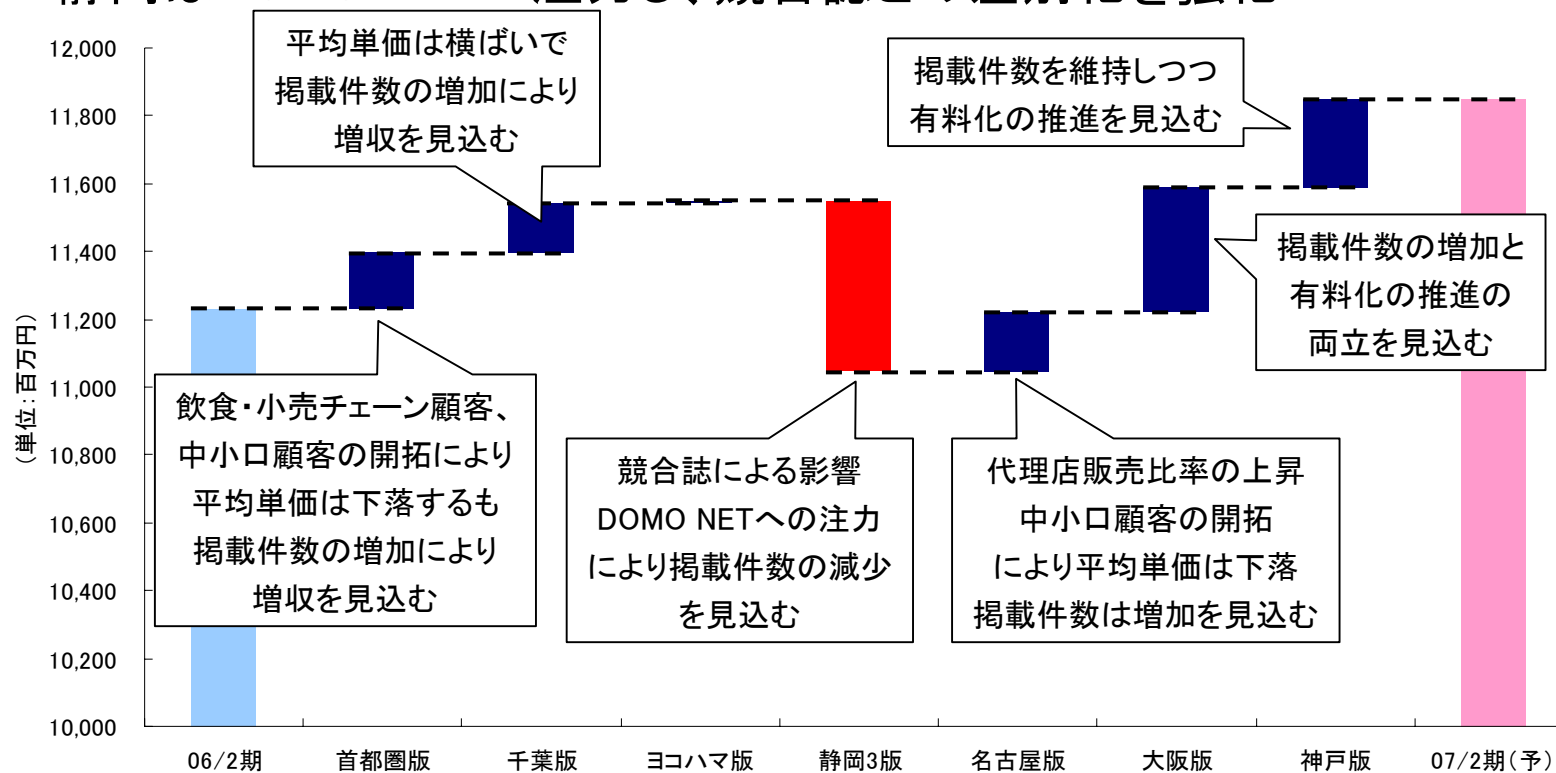


07/2期	予想	百万円	11,851	378	1,101	—	—	13,331
06/2期	実績	百万円	11,230	162	1,004	5,386	38	17,821
前年同期比	増減額	百万円	621	215	97	-5,386	-38	-4,489
	増減率	%	5.5	133.2	9.7	—	—	-25.2

# 『DOMO』売上高の増減要因(2007年2月期)

## ■ 新規地域(千葉、大阪、神戸)が増収をけん引

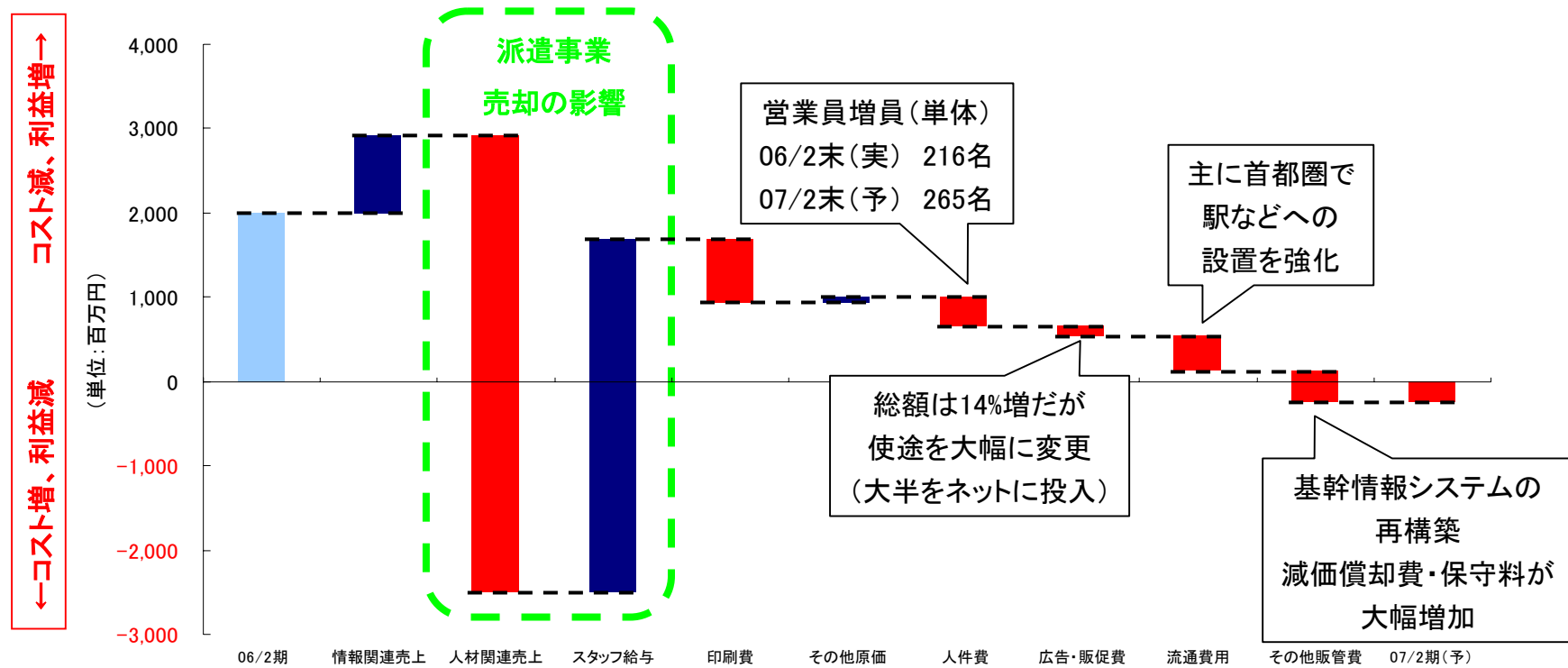
ー 静岡はDOMO NETへ注力し、競合誌との差別化を強化



07/2期	予想	百万円	4,012	381	911	4,156	1,231	863	294	11,851
06/2期	実績	百万円	3,846	234	905	4,659	1,054	496	33	11,230
前年同期比	増減額	百万円	166	147	6	-502	176	367	260	621
	増減率	%	4.3	63.1	0.7	-10.8	16.7	74.0	778.7	5.5

# 連結営業利益の増減要因(2007年2月期)

- 過去最大の投資により、印刷費、人件費、流通費用、その他販管費が大幅増加し、営業赤字を予想

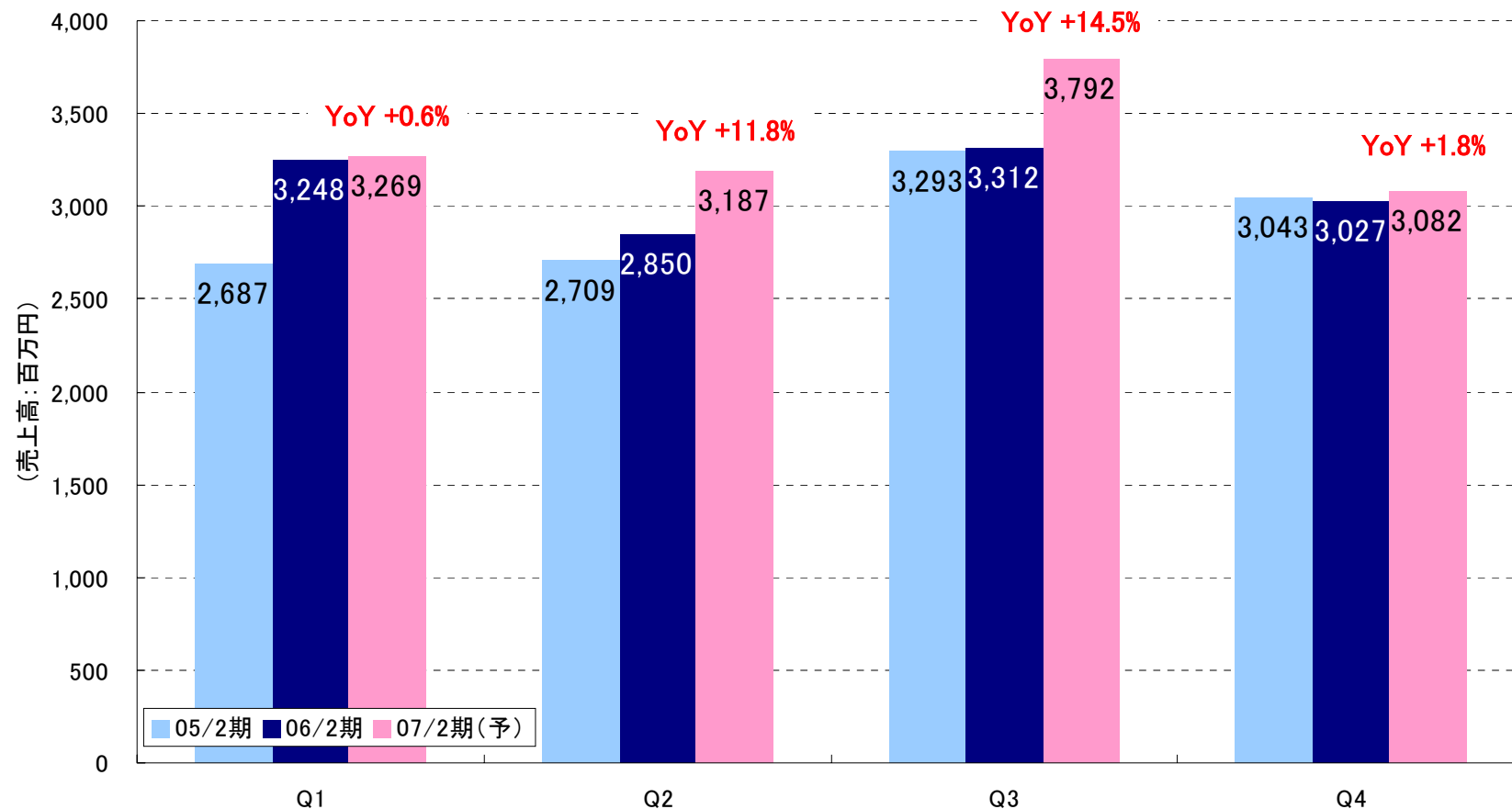


	実績	百万円	情報関連売上	人材関連売上	スタッフ給与	印刷費	その他原価	人件費	広告・販促費	流通費用	その他販管費	07/2期(予)
07/2期	実績	百万円	13,331	—	—	2,934	1,615	3,978	964	2,252	1,826	-240
06/2期	実績	百万円	12,396	5,424	4,189	2,183	1,677	3,642	842	1,848	1,446	1,990
前年同期比	増減額	百万円	935	-5,424	-4,189	751	-62	336	121	404	379	-2,230
	増減率	%	7.5	—	—	34.4	-3.7	9.2	14.4	21.9	26.3	—

## (参考)情報関連事業売上高の見通し(2007年2月期)

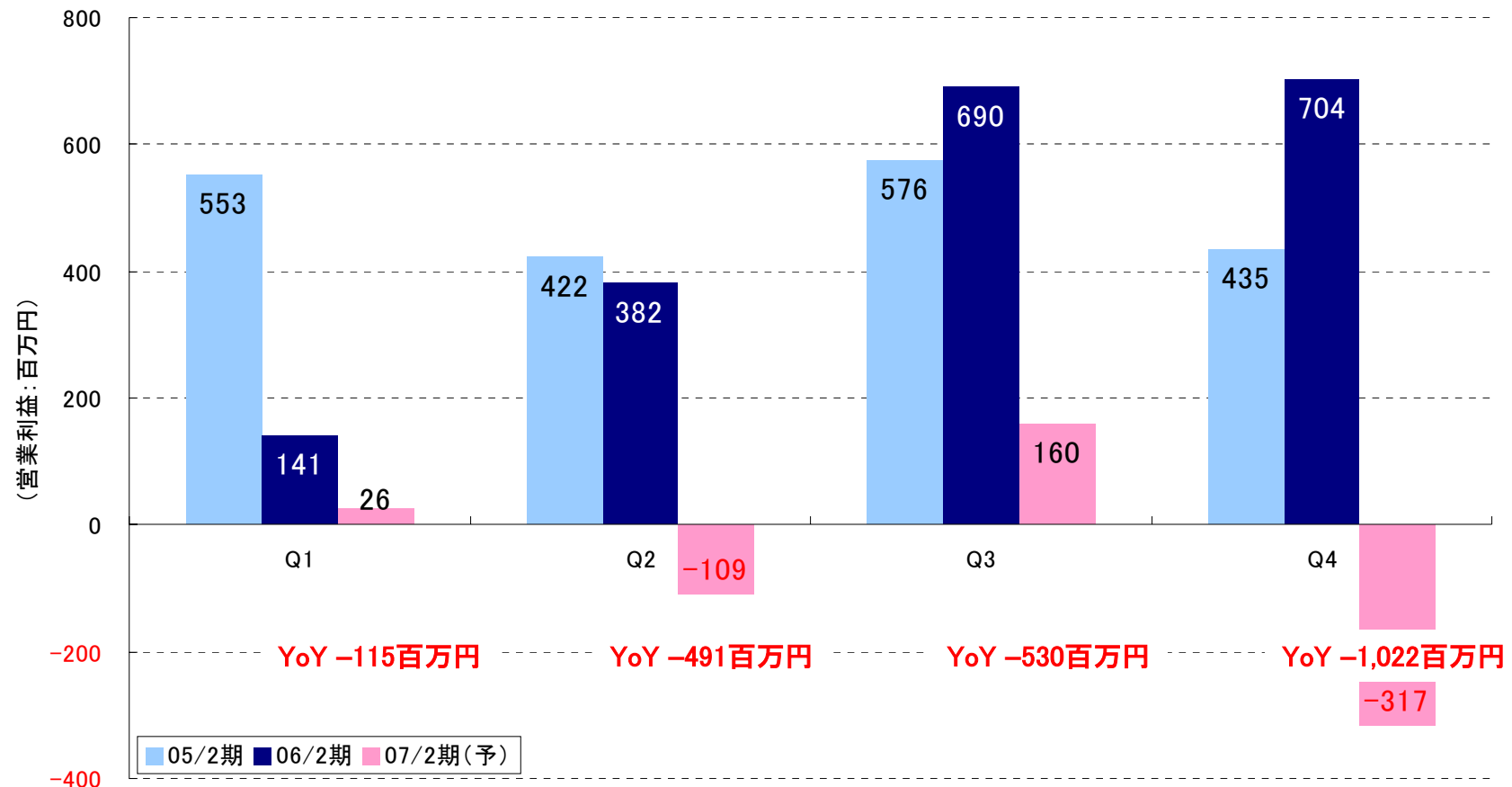
### ■ 継続事業の売上高は通期で7.2%の増収を見込む

- 求人情報サイト事業、フリーペーパー取次事業(子会社事業)が増収率をけん引



## (参考)情報関連事業営業利益の見通し(2007年2月期)

### ■ 投資負担は下半期に重く、営業赤字も下半期に集中



# 当期(06/2期)の総括と 今期(07/2期)の戦略と課題

---

代表取締役社長  
鈴木 秀和



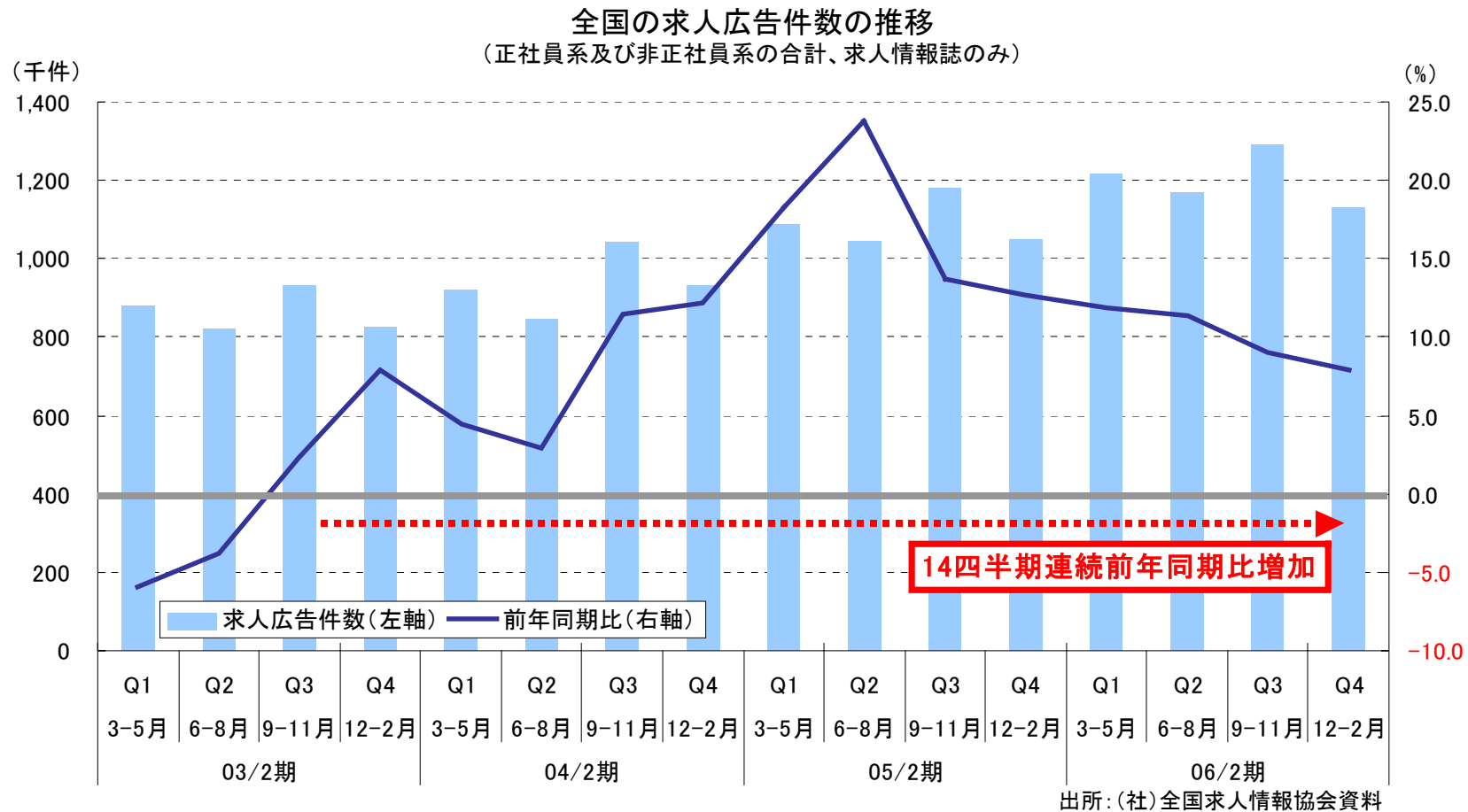
## 当期の業績(2006年2月期)

### ■ 上半期に集中させた投資を回収し切れなかった

(単位:百万円)	当期 (06/2期)	前期 (05/2期)	前年同期比	期初予想 (06/2期)	期初予想比
売上高	17,821	17,327	493	19,238	△1,417
売上原価	8,051	7,999	51	8,327	△275
売上総利益	9,769	9,327	441	1,0911	△1,141
販管費	7,779	7,240	538	8,307	△527
営業利益	1,990	2,087	△96	2,604	△613
経常利益	1,989	2,085	△96	2,592	△603
当期純利益	1,302	1,172	129	1,455	△153

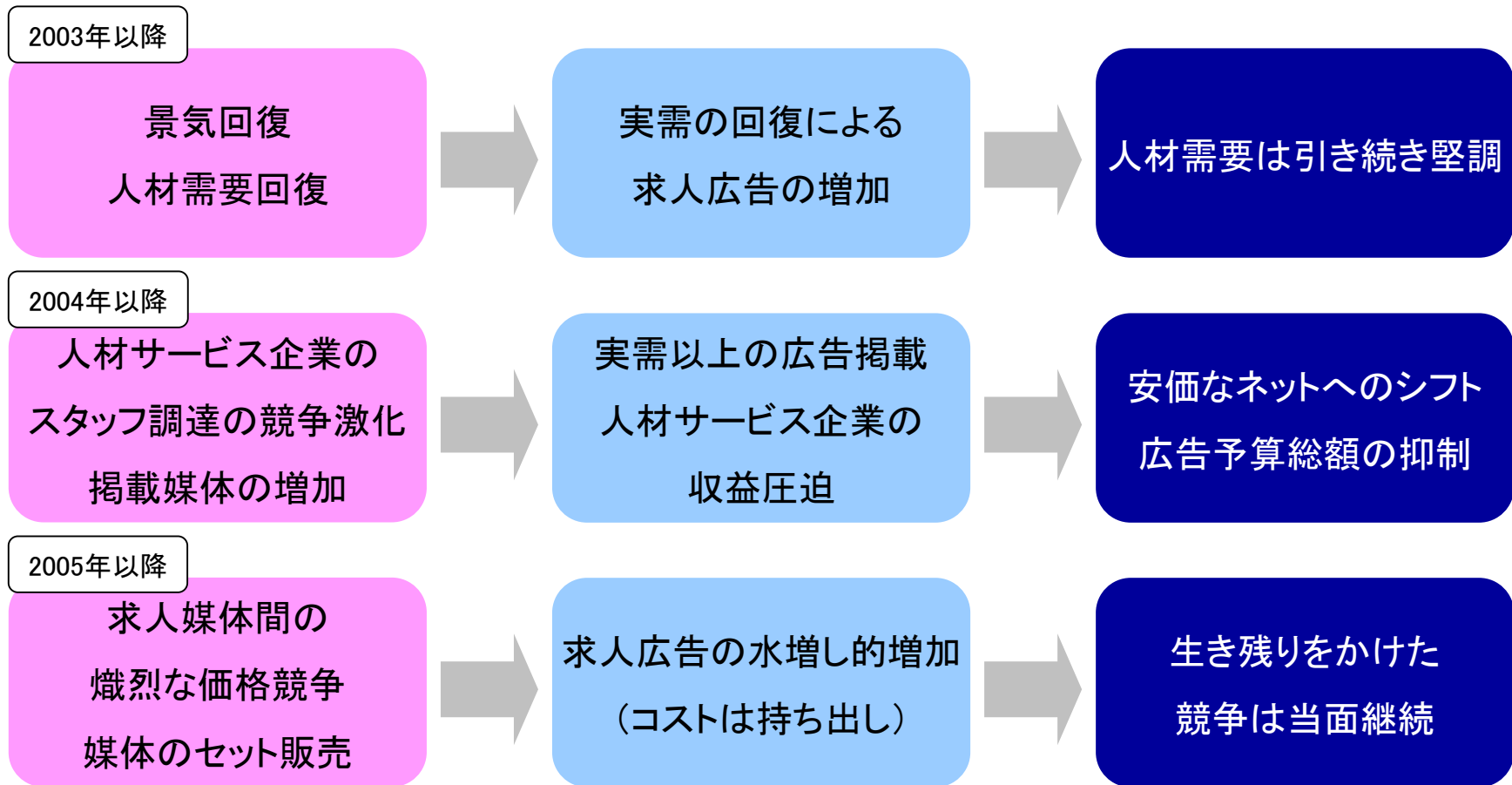
# 求人広告市場の状況

## ■ 求人広告市場は件数ベースで3年連続増加



# 求人広告市場拡大の背景(非正社員系)

- 実需だけでなく、顧客及び媒体間の競争激化も市場の拡大に影響していると推測される

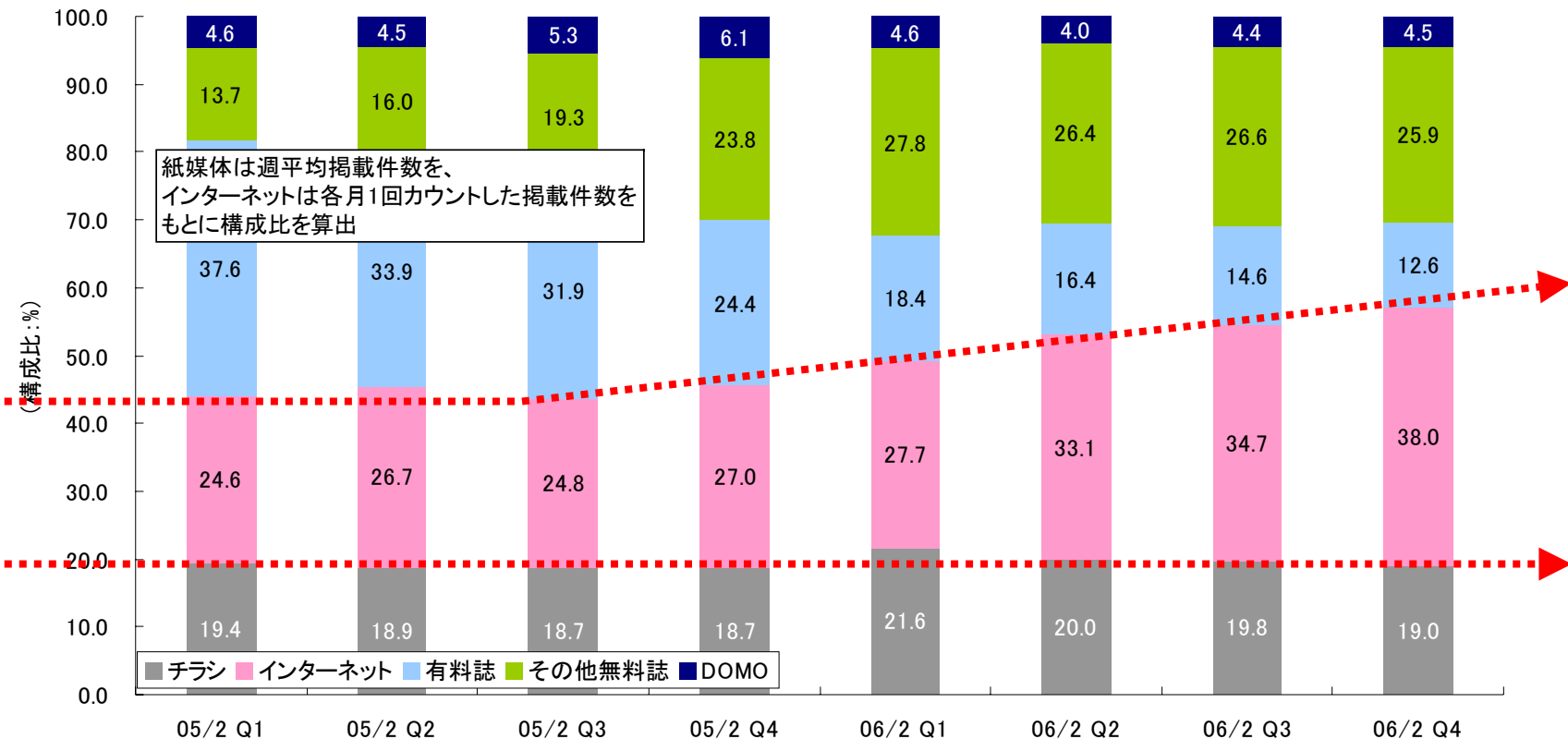


# DOMO首都圏版の状況：掲載件数シェア

- 大口顧客のインターネットへのシフトが顕著になっている
  - － 一方で複数媒体のセット販売やダンピングによる水増しも推測される

主要求人媒体の構成比  
(広告件数ベース、東京23区内)

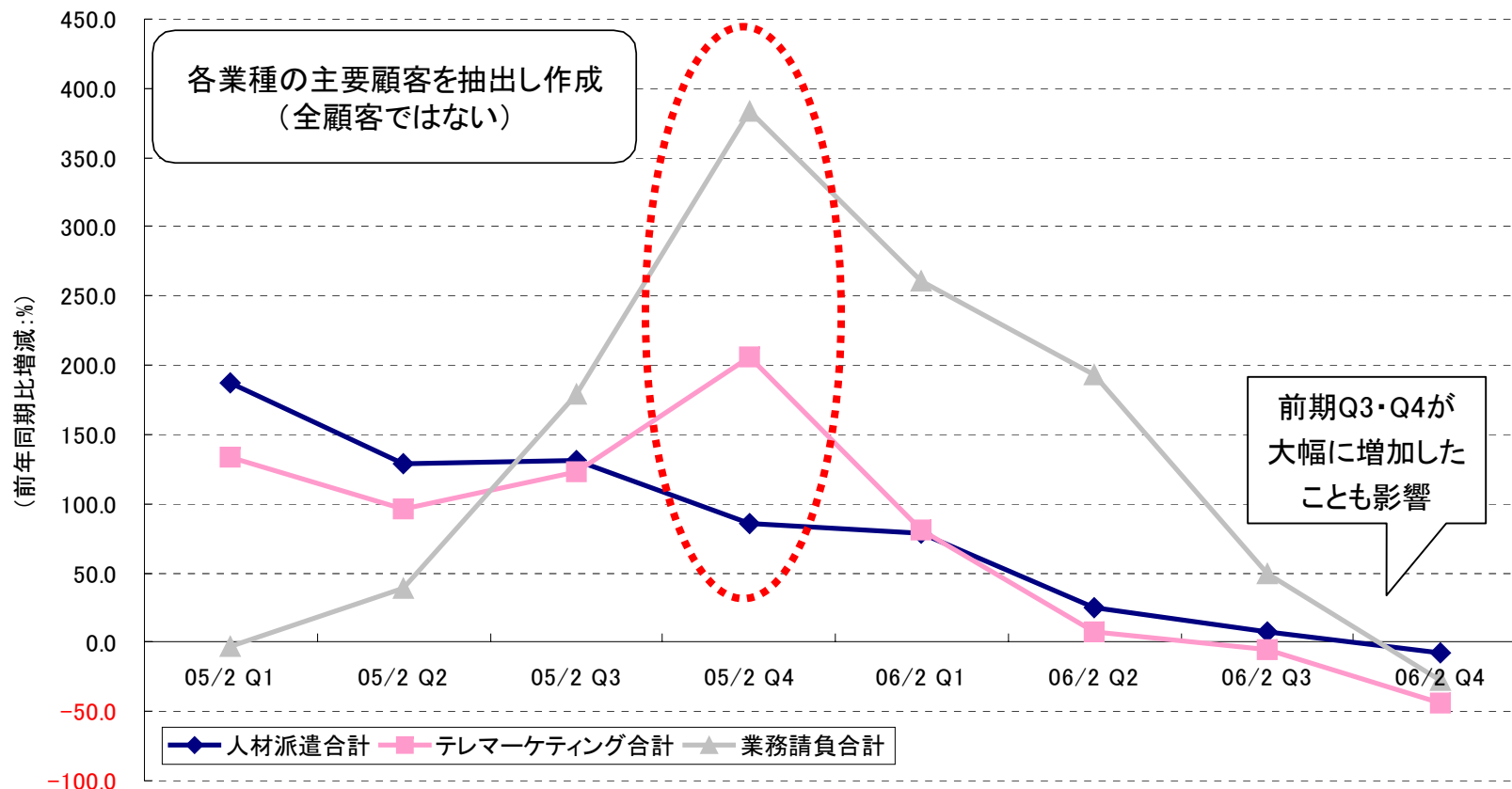
出所：自社調べ



# DOMO首都圏版の状況：大口顧客の動向

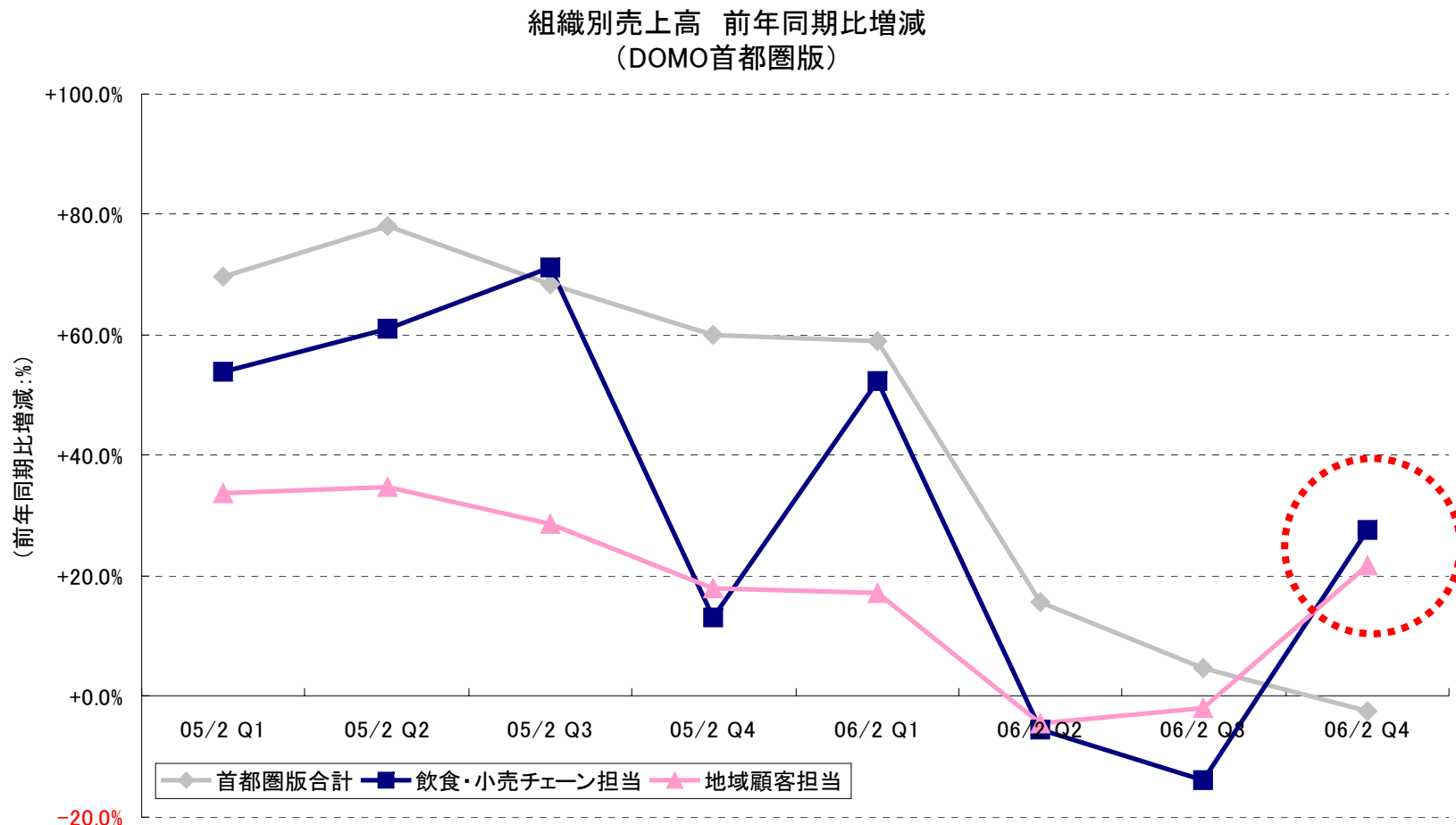
- 週2回発行開始に伴う掲載料金半額キャンペーンの反動減、顧客のインターネットへのシフトが相まって伸び率が大幅に鈍化

業種別指標(売上高前年同期比増減)-首都圏版



# DOMO首都圏版の状況：営業力強化の成果

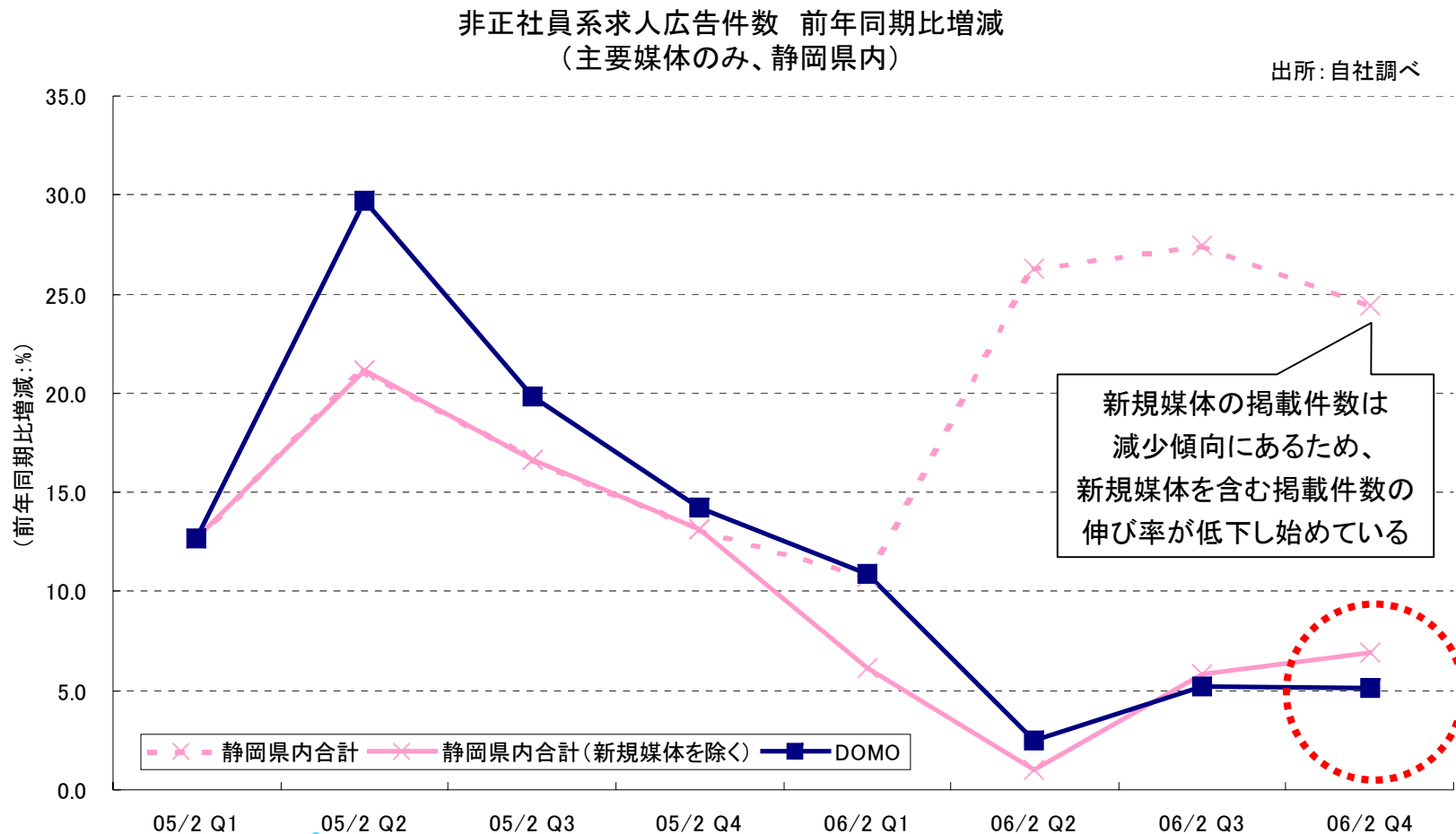
- 営業研修の徹底と営業マネージャーの育成が成果として表れつつある



# DOMO静岡3版の状況：掲載件数増減率

## ■ 競合無料誌の攻勢は沈静化の兆し

－ 実需は緩やかな拡大傾向

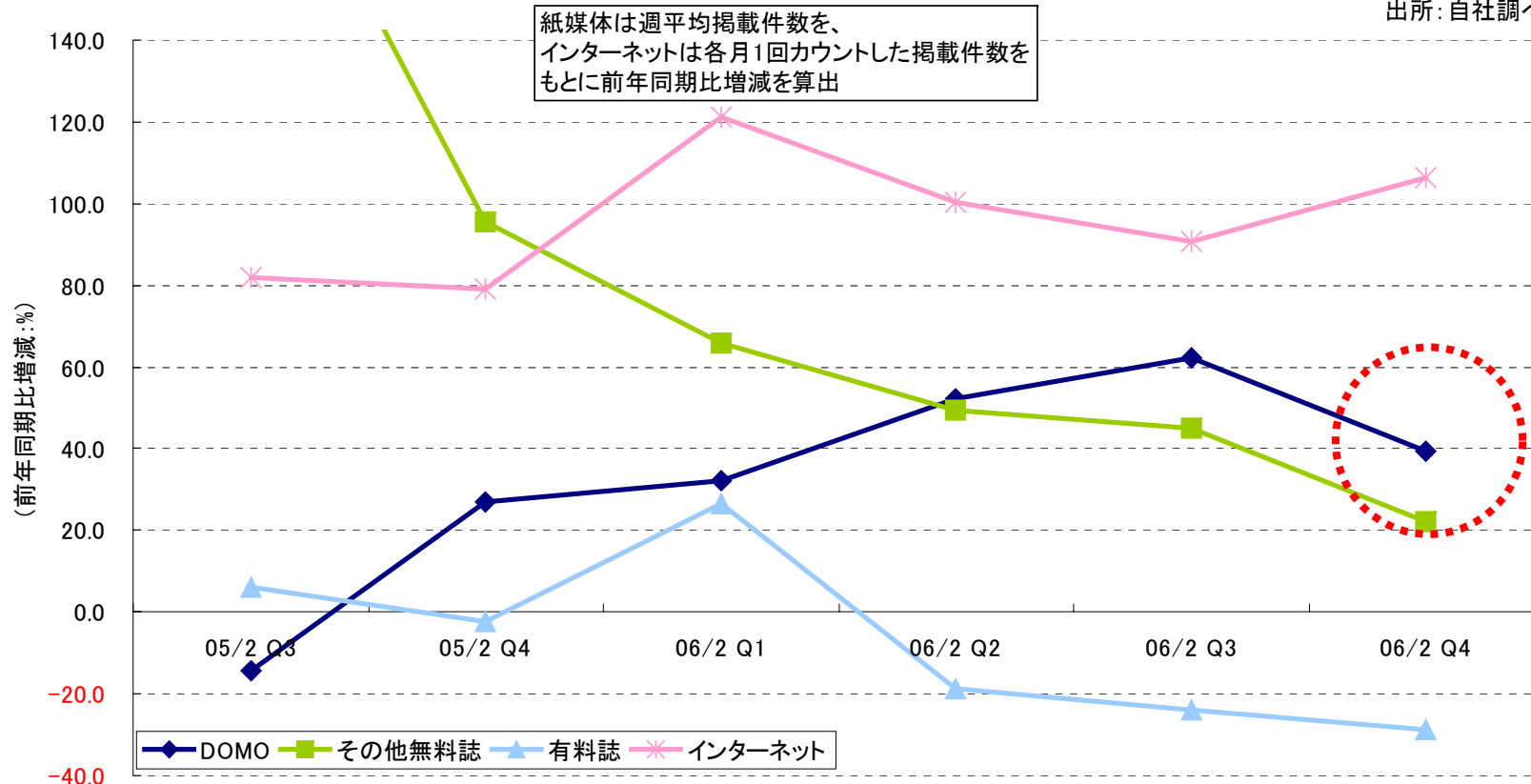


# DOMO名古屋版の状況：掲載件数増減率

- 愛知万博前後の需要は一巡、媒体間の競争は引き続き厳しい
  - － 首都圏と同様の状況が今後予想される

媒体別非正社員系求人広告 前年同期比増減  
(主要媒体のみ、名古屋市内)

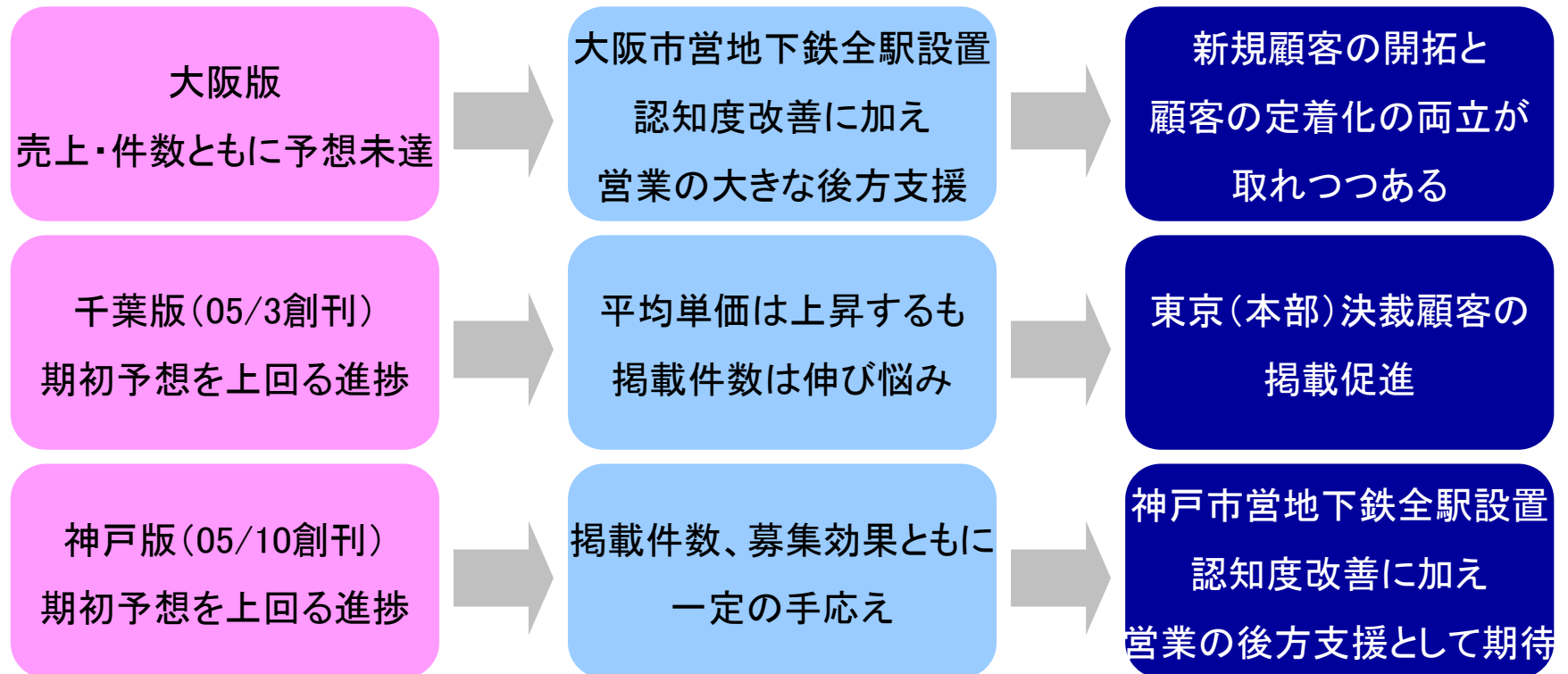
出所：自社調べ





# DOMO新規地域の状況

- 競争激化により名古屋版ほどのスピードでは市場浸透できず
  - － Q4では大阪版に好転の兆し、千葉版に減速傾向



# 競合企業の状況

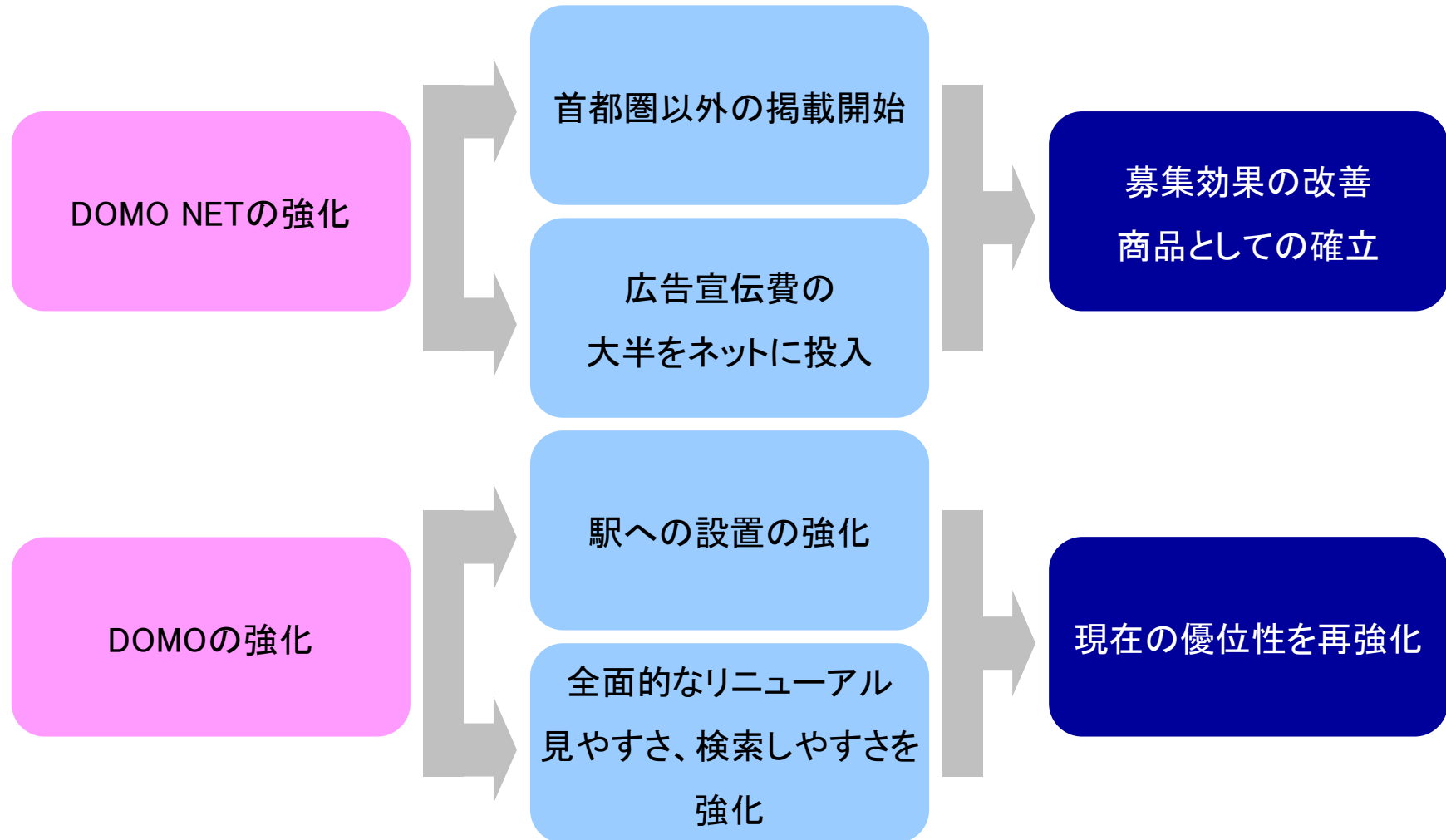
## ■ 生き残りをかけた競争は激化、業界再編は加速

会社名	売上高(億円)	有料誌/チラシ	無料誌	インターネット(無料)	インターネット(課金)
当社	114 (06/2期)	—	DOMO (1973年)	—	DOMO NET (2004年)
(株)リクルート	1,794 (05/3期)	FromA (1982年)	—	—	FromA navi (1996年)
		—	TOWN WORK (1998年)	TOWN WORK net (2005年)	—
(株)アイデム	488 (05/8期)	アイデム (1971年)	ジョブアイデム (2002年)	—	e-aidem (2004年)
(2006年7月1日合併予定)					
(株)学生援護会	432 (05/3期)	an (1967年)	Free an (2006年)	—	web an (2000年)
(株)インテリジェンス	23 (05/9期)	—	—	—	OPPO (2000年)
ディップ(株)	53 (06/2期予)	—	—	—	バイトルドットコム (2002年)

(注) 各社公表資料より。なお、(株)リクルートはHRディビジョンカンパニーの売上高、(株)インテリジェンスはOPPO事業の売上高。

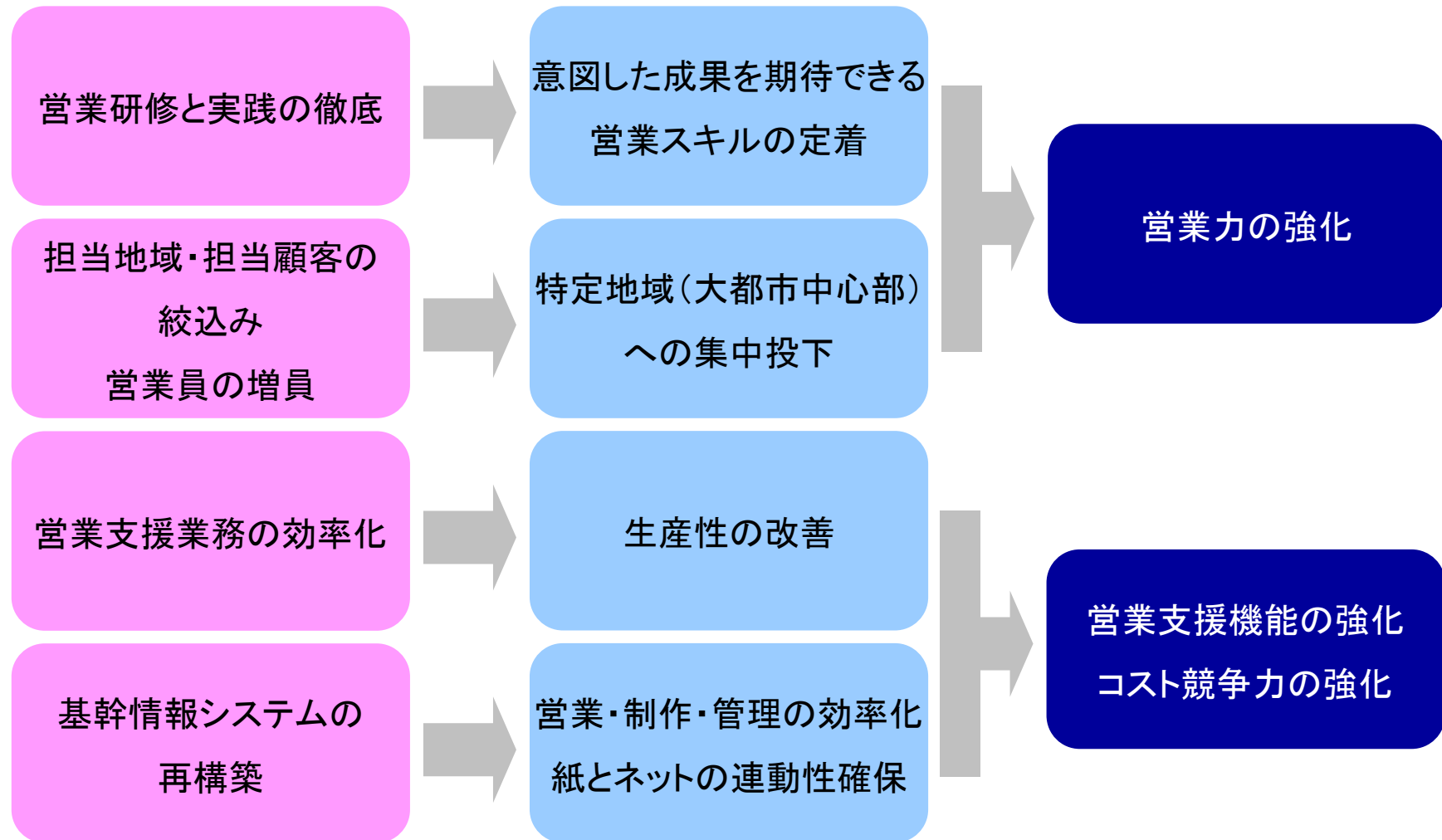
# 今後の戦略と課題①

## ■ インターネットを強化し、「紙とインターネットの両立」を目指す



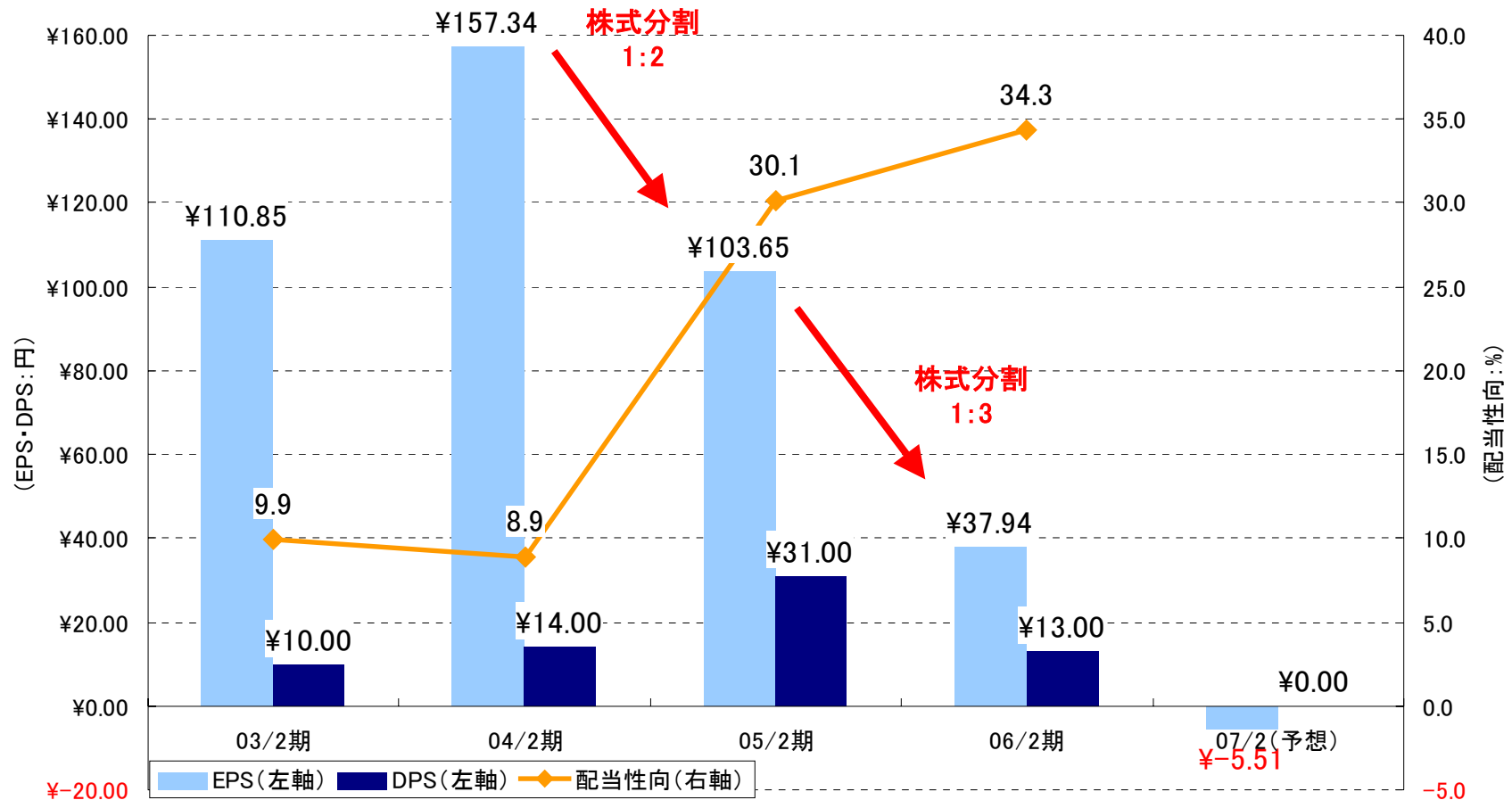
## 今後の戦略と課題②

### ■ 営業力の強化が今後の成長の鍵を握る



# 連結1株当たり指標見通し(2007年2月期)

## ■ 業績連動の利益配分方針に変更なし



# 掲載情報について

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及び子会社・関連会社;以下当社グループ)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料の作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

# ご連絡先

---

株式会社アルバイトタイムス

管理本部 広報・IR担当マネージャー 高橋 徹弥

Tel: 03-5202-2255

Fax: 03-5202-2300

E-mail: [ir@atimes.co.jp](mailto:ir@atimes.co.jp)

住所: 〒103-0027

中央区日本橋2-1-14 日本橋加藤ビルディング

HP: <http://www.atimes.co.jp/>